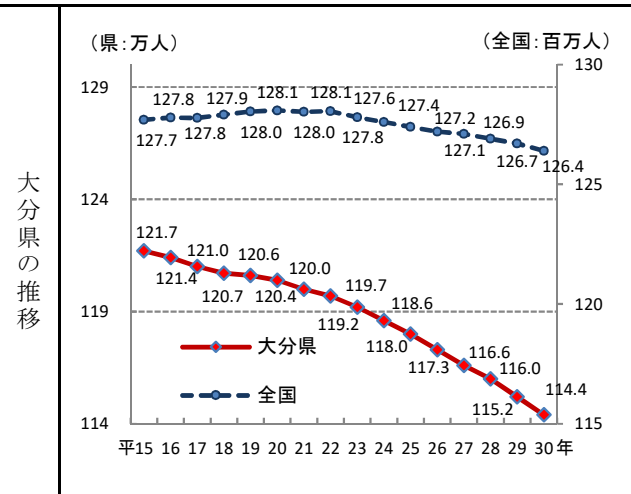
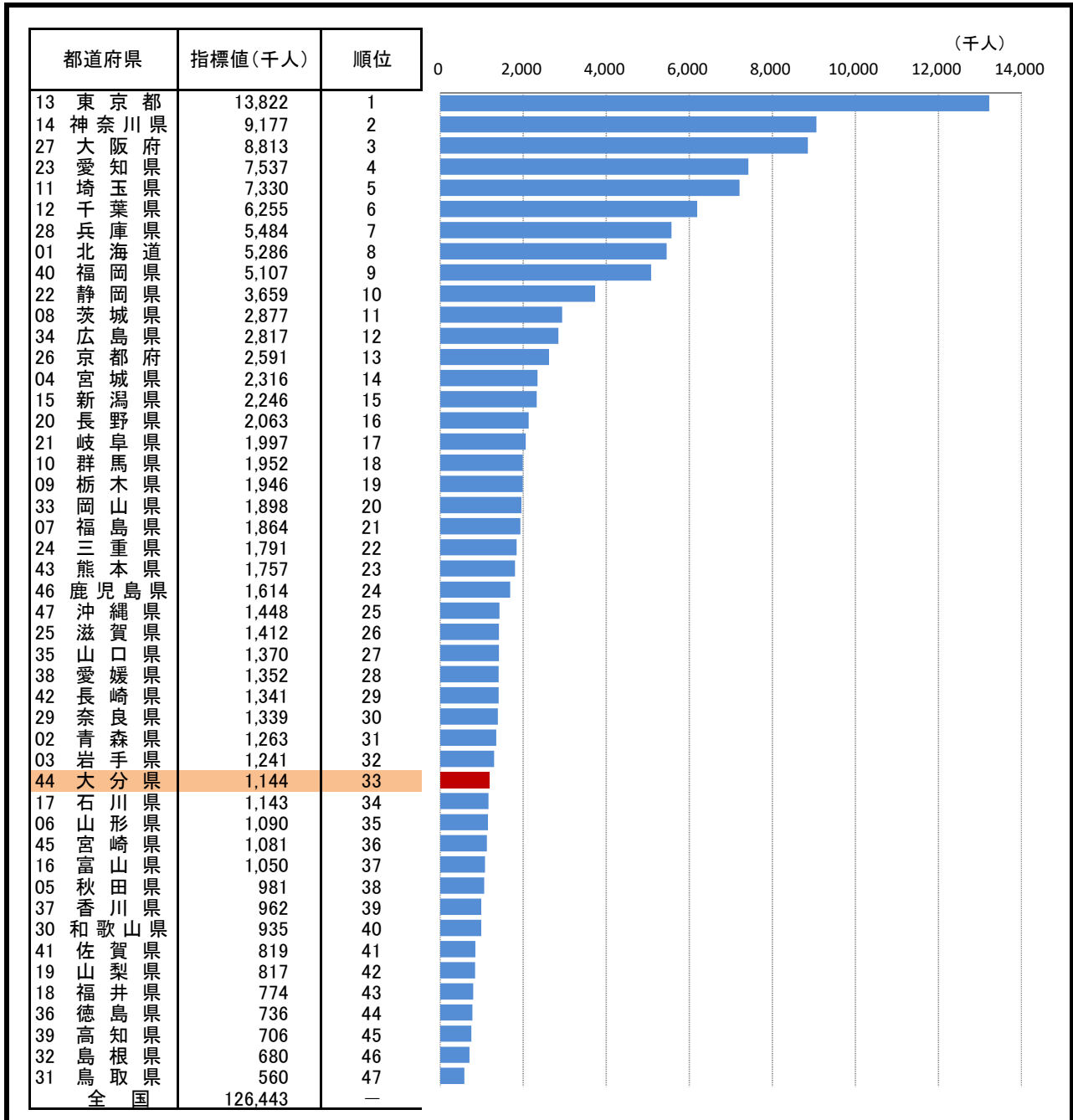


# 1 人口



# 1. 総人口

—平成30年—



参 考

○ 概 要  
総務省統計局の人口推計によると、平成30年10月1日現在の大分県の総人口は1,144千人で、全国の総人口の0.90%を占め、全国33位となっている。

○ 基礎データ 総人口 (人)

	大分県	全国
22年	1,196,529	128,057,352
26年	1,173,000	127,237,000
27年	1,166,338	127,094,745
28年	1,160,000	126,933,000
29年	1,152,000	126,706,000
30年	1,144,000	126,443,000

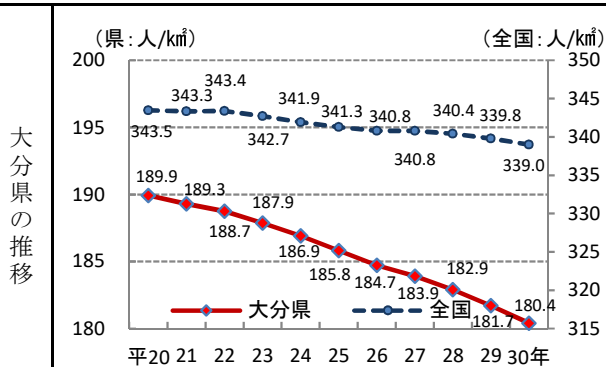
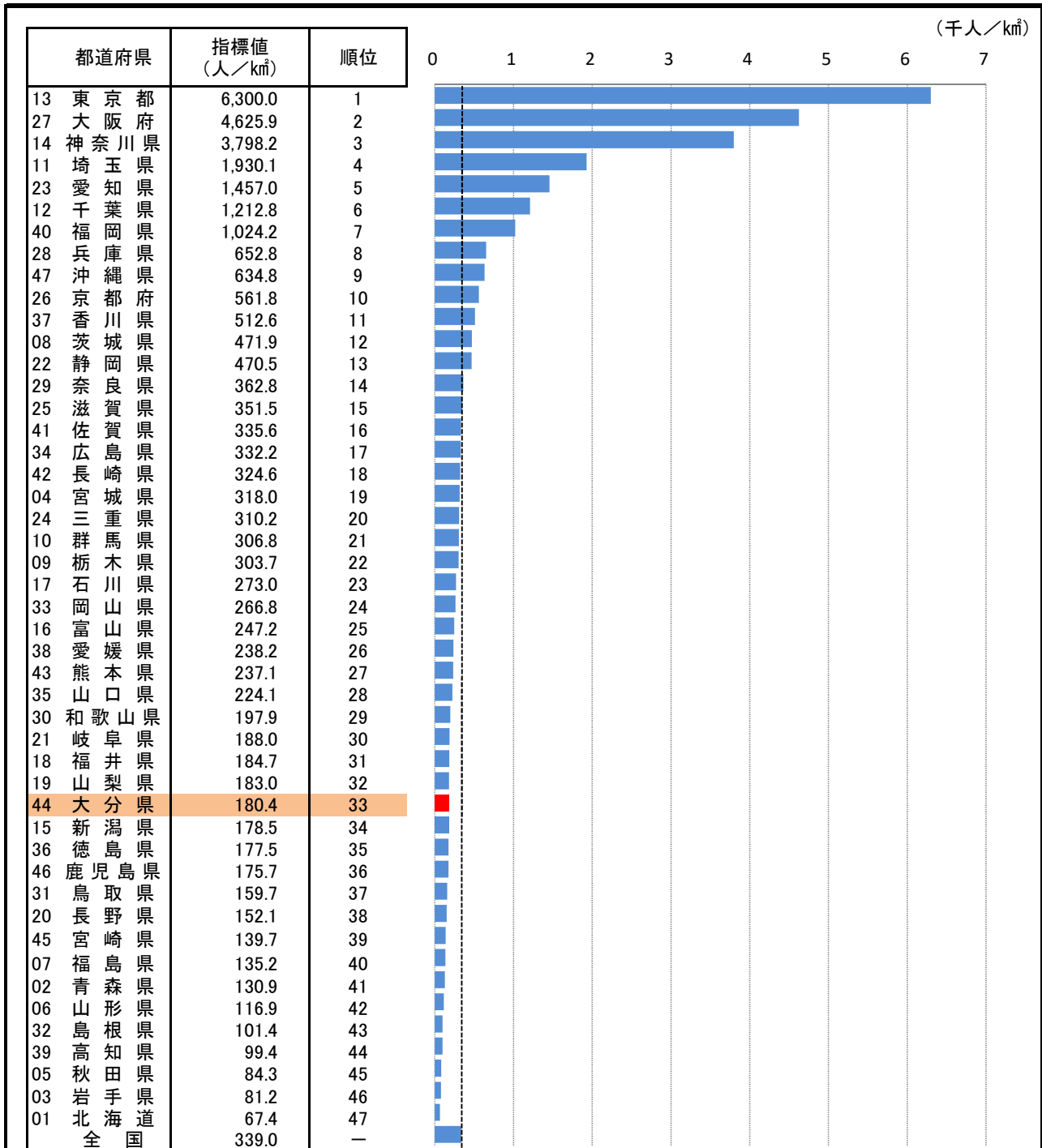
摘 要

○ 資料出所：総務省統計局「人口推計年報」  
○ 調査期日：平成30年10月1日  
○ 調査周期：毎年  
注) 平成22年及び27年は総務省統計局「国勢調査報告」による。

\* 順位は数値の大きい方からつけています。

## 2. 人口密度(総面積1km<sup>2</sup>あたり)

—平成30年—



参考

○ 基礎データ (平成29年)

	総人口 (人)	総面積 (km <sup>2</sup> )
大分県	1,144,000	6,340.73
全 国	126,443,000	372,937.54

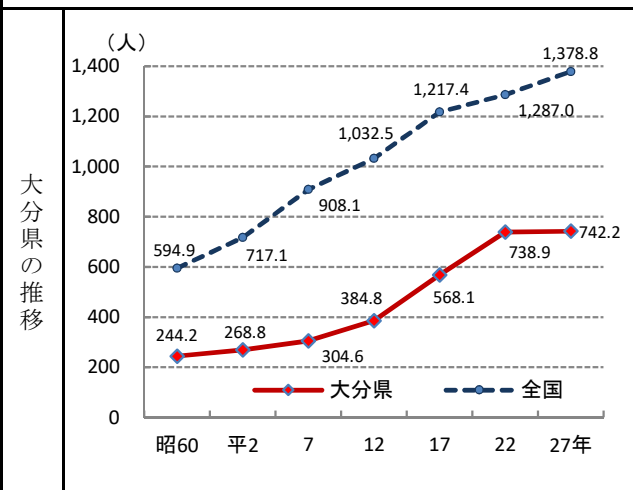
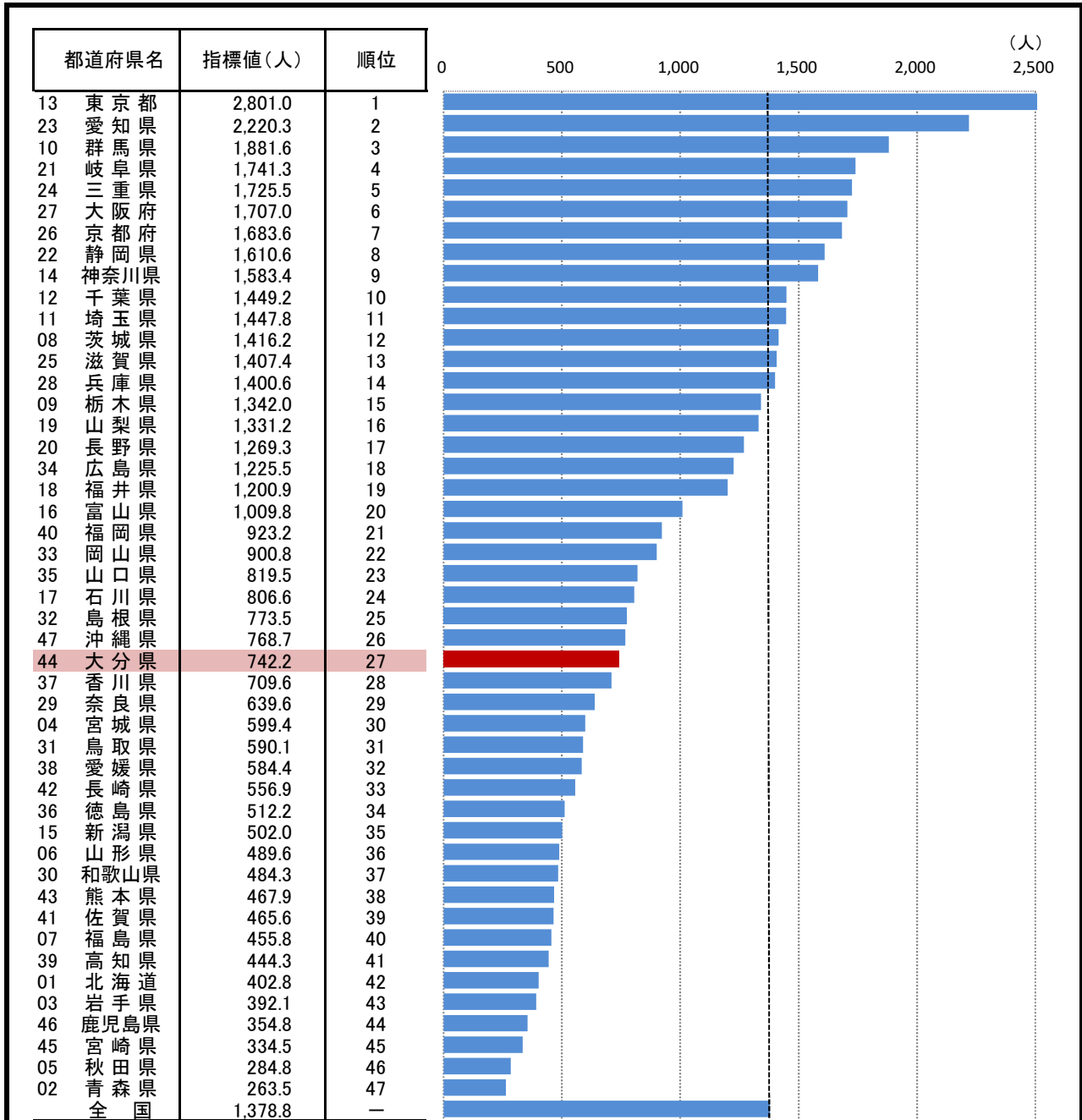
摘要

- 資料出所  
総人口：総務省統計局「人口推計年報」  
総面積：国土地理院「全国都道府県市区町村面積調」
- 調査期日：平成30年10月1日
- 調査周期：毎年
- 注) 平成22年及び27年は総務省統計局「国勢調査報告」による。
- 指標計算式  
分子：総人口、分母：総面積(ただし、全国値は北方地域5,036.14km<sup>2</sup>及び竹島0.21km<sup>2</sup>を除く)

\* 順位は数値の大きい方からつけています。

### 3. 外国人数(人口10万人あたり)

—平成27年—



参 考

○ 概 要  
 総務省統計局の国勢調査によると、平成27年10月1日現在の**大分県**の外国人数は8,656人で、**全国**の外国人数の0.49%を占め、人口10万人あたりで見ると742.2人で、**全国27位**となっている。

○ 基礎データ (平成27年) (人)

	外国人数	総人口
大分県	8,656	1,166,338
全 国	1,752,368	127,094,745

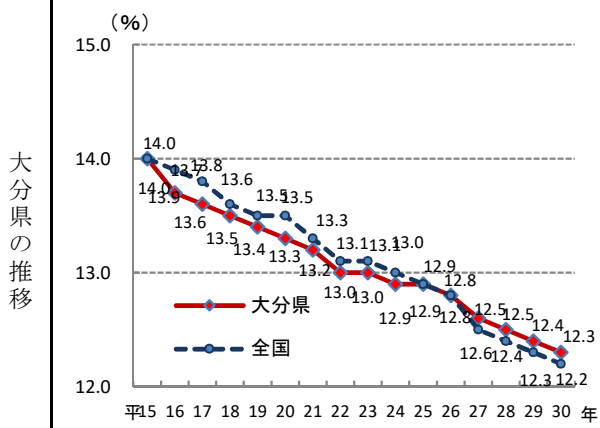
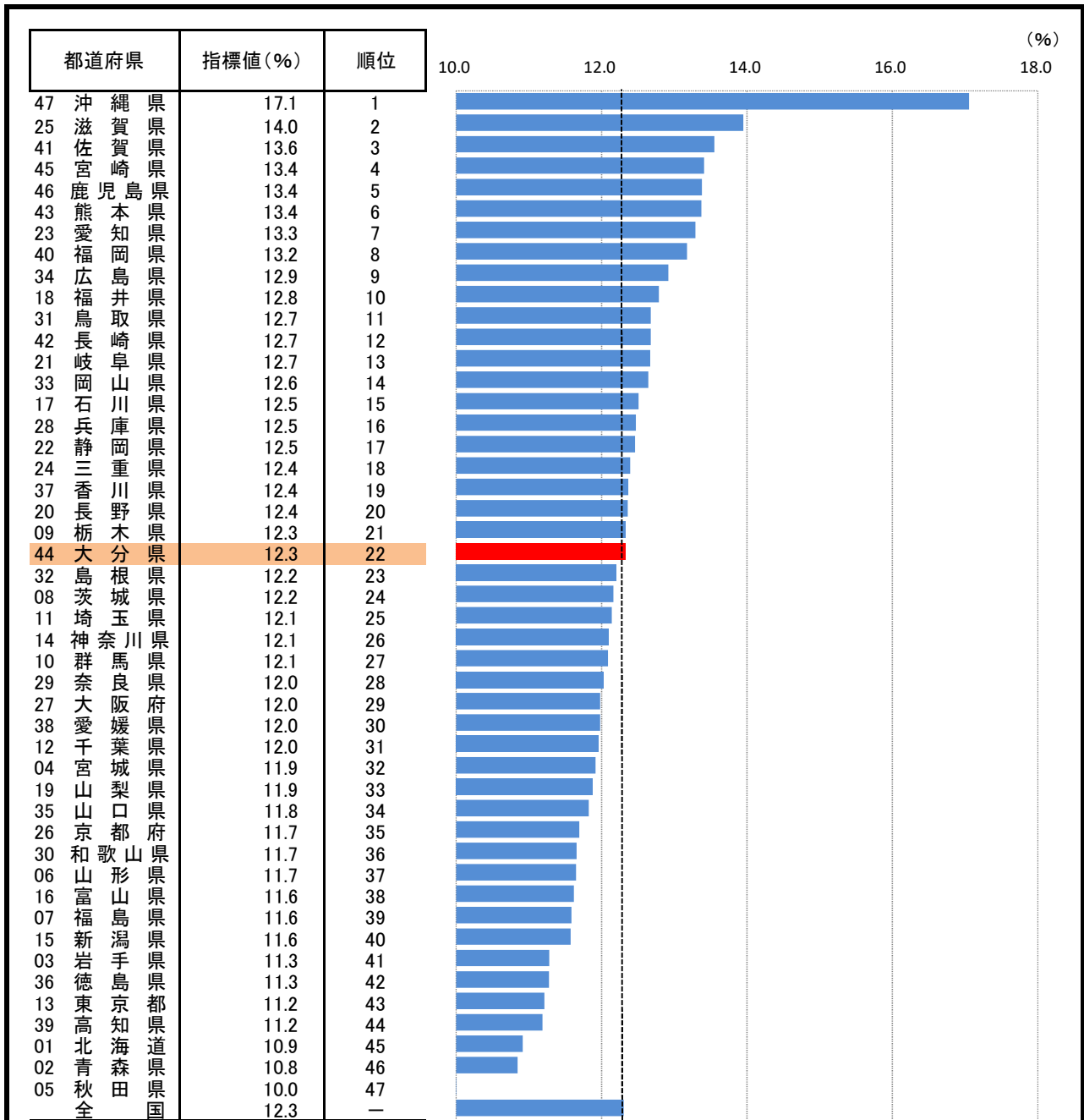
摘 要

○ 資料出所：総務省統計局「国勢調査」  
 ○ 調査期日：平成27年10月1日  
 ○ 調査周期：5年  
 ○ 外国人人口：国勢調査の人口総数のうち、外国国籍を有する者。

\* 順位は数値の大きい方からつけています。

# 4. 年少人口割合(15歳未満人口)

—平成30年—



○ 概要  
 総務省統計局の人口推計によると、平成30年10月1日現在の**大分県**の年少人口割合は**12.3%**で、**全国22位**となっている。

○ 基礎データ (平成29年) (千人)

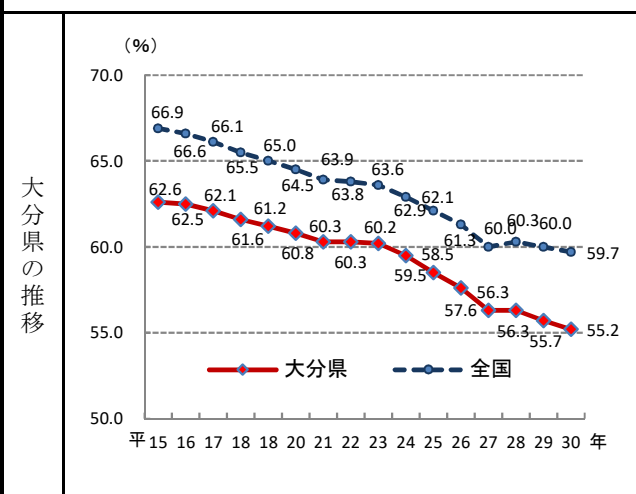
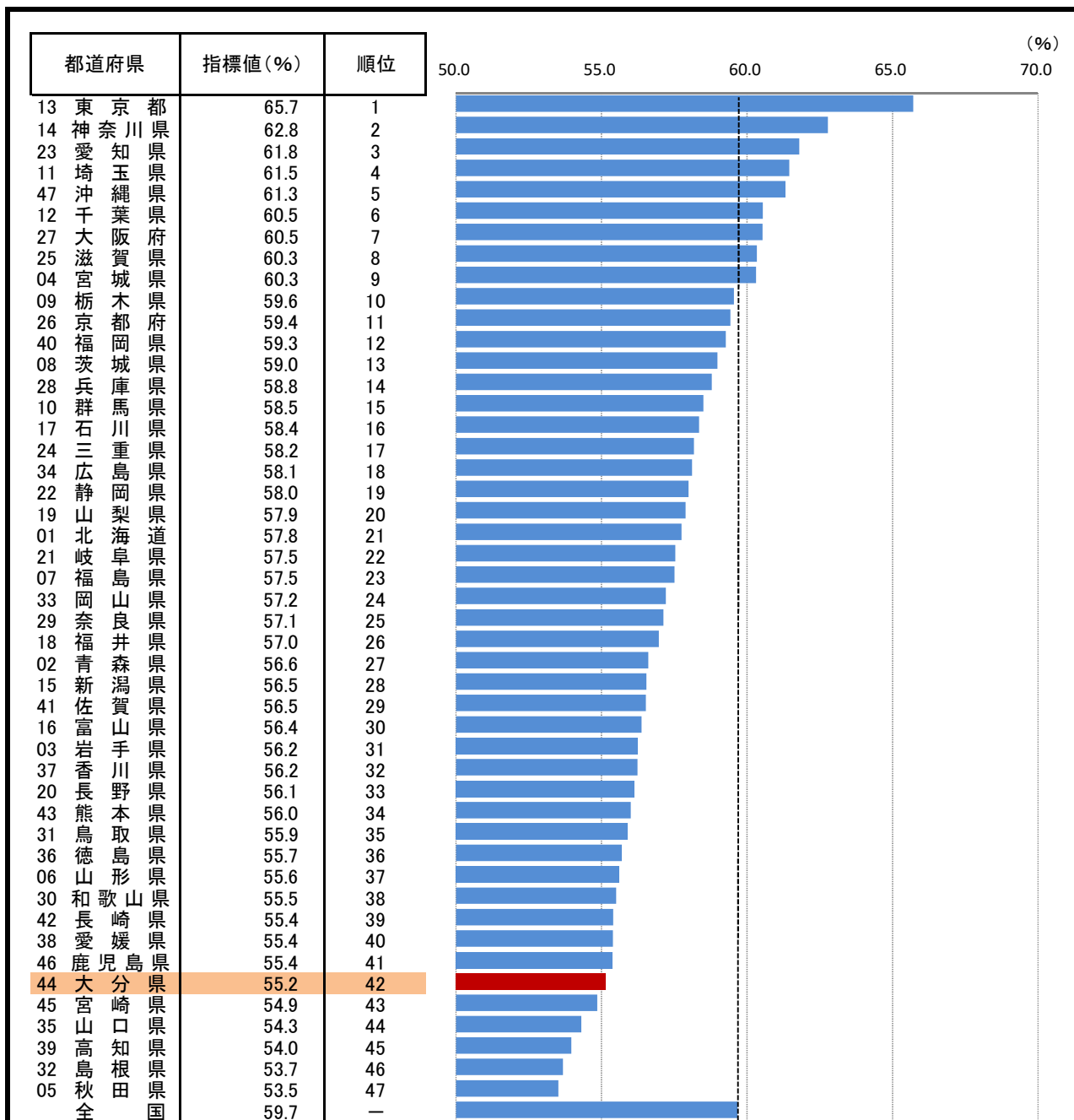
	年少人口	総人口
大分県	141	1,144
全国	15,415	126,443

○ 資料出所：総務省統計局「人口推計年報」  
 ○ 調査期日：平成30年10月1日  
 ○ 調査周期：毎年  
 ○ 年少人口割合：総人口に占める年少人口（15歳未満人口）の割合。  
 注）平成17年、22年及び27年は総務省統計局「国勢調査」による人口（年齢不詳人口を含む）。

\* 順位は数値の大きい方からつけています。

# 5. 生産年齢人口割合(15歳～64歳人口)

—平成30年—



○ 概 要  
 総務省統計局の人口推計によると、平成30年10月1日現在の県の大分県は生産年齢人口割合は55.2%で、全国42位となっている。

○ 基礎データ (平成29年) (千人)

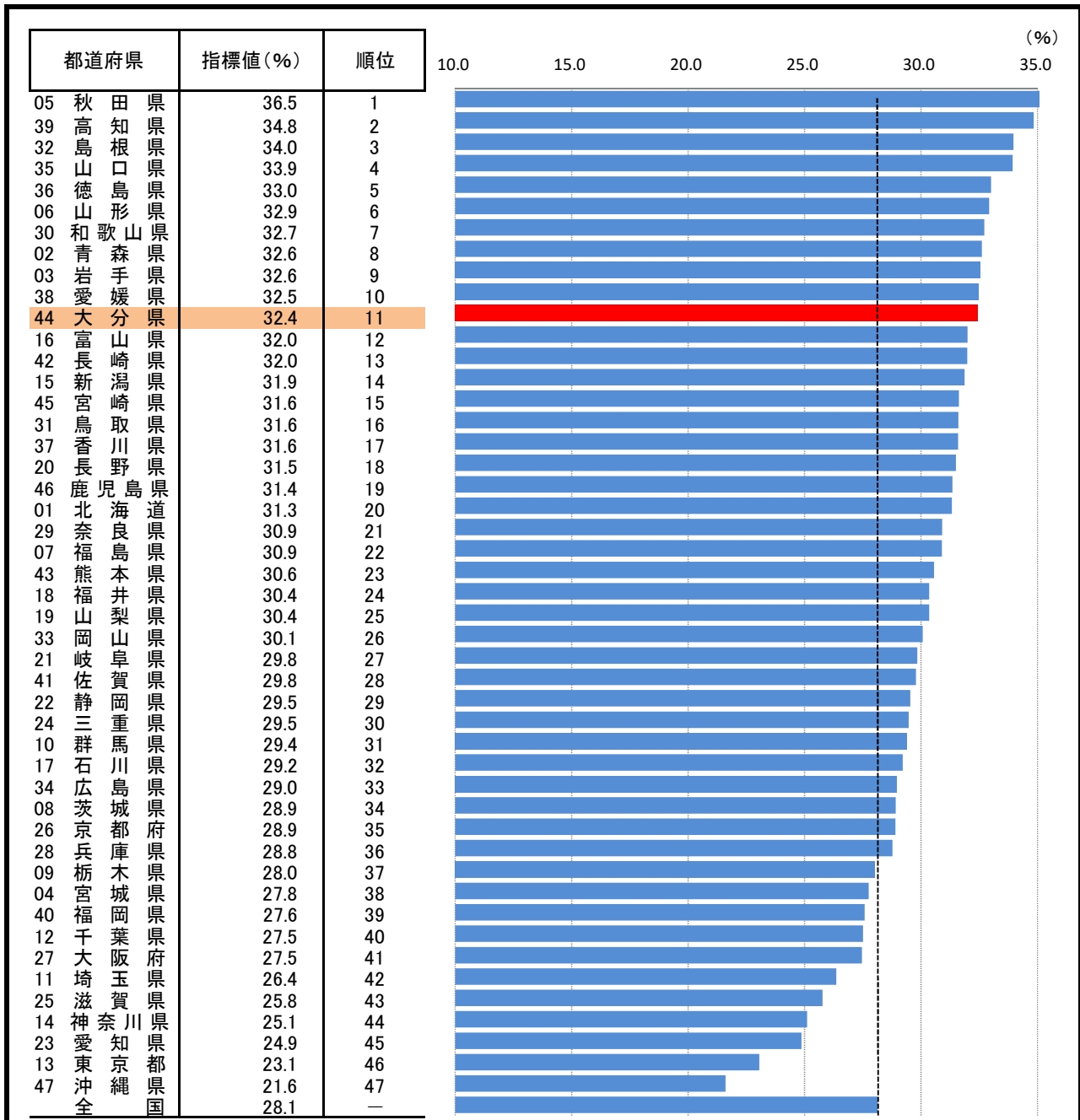
	生産年齢人口	総人口
大分県	631	1,144
全 国	75,458	126,443

○ 資料出所：総務省統計局「人口推計年報」  
 ○ 調査期日：平成30年10月1日  
 ○ 調査周期：毎年  
 ○ 生産年齢人口割合：総人口に占める生産年齢人口(15歳～64歳人口)の割合。  
 注) 平成17年、22年及び27年は総務省統計局「国勢調査」による人口(年齢不詳人口を含む)。

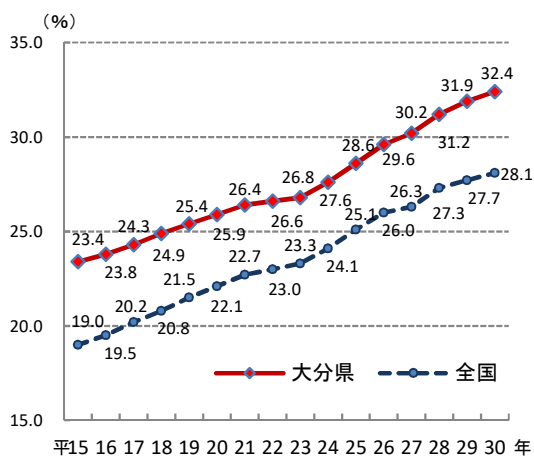
\* 順位は数値の大きい方からつけています。

## 6. 老年人口割合(65歳以上人口)

—平成30年—



大分県の推移



参考

○ 概要  
平成30年10月1日現在の県の大分県の老年人口割合は32.4%で、全国11位となっている。

○ 基礎データ (平成30年) (千人)

	大分県	全国
老年人口	371	35,580

○ 参考指標 (平成30年) (%)

	大分県	全国
75歳以上人口割合	16.9	14.2

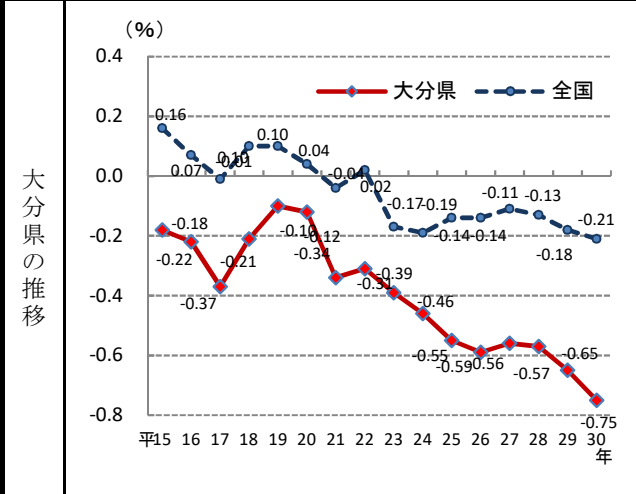
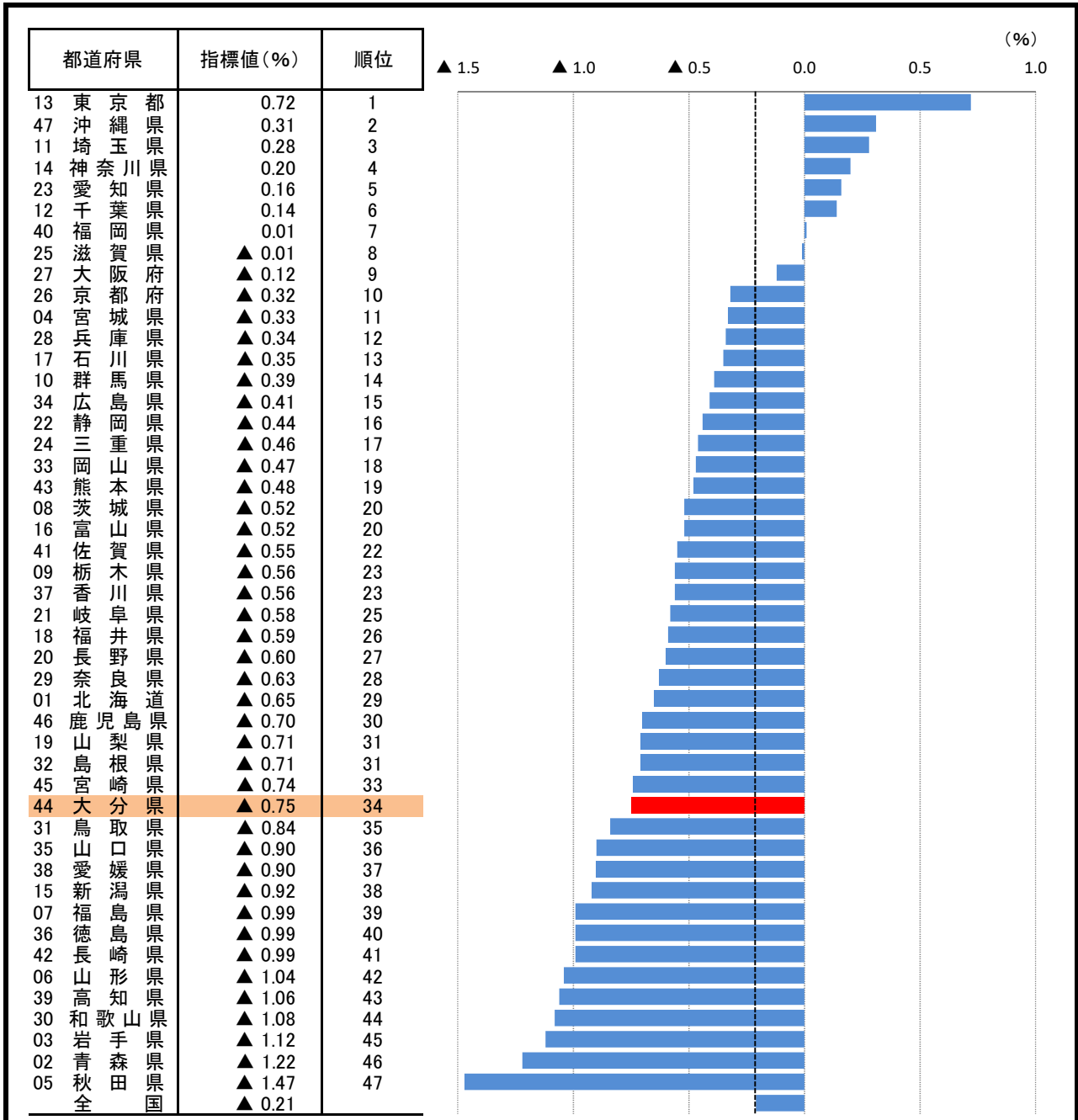
摘要

○ 資料出所：総務省統計局「人口推計年報」  
 ○ 調査時点：平成30年10月1日  
 ○ 調査期日：毎年  
 ○ 老年人口割合：総人口に占める老年人口（65歳以上人口）の割合。  
 注）平成17年、22年及び27年は総務省統計局「国勢調査」による人口（年齢不詳人口を含む）。

\* 順位は数値の大きい方からつけています。

# 7. 人口増減率－総人口

－平成30年－



○ 概要  
 総務省統計局の人口推計によると、平成29年の大分県の人口増減率は▲0.75%で、全国値を0.54ポイント下回り、全国34位となっている。

○ 基礎データ及び参考指標 (人、%)

	大分県	全国
29年総人口	1,152,000	126,706,000
30年総人口	1,144,000	126,443,000
30年自然増加率	-0.54	-0.34
30年社会増加率	-0.22	0.13

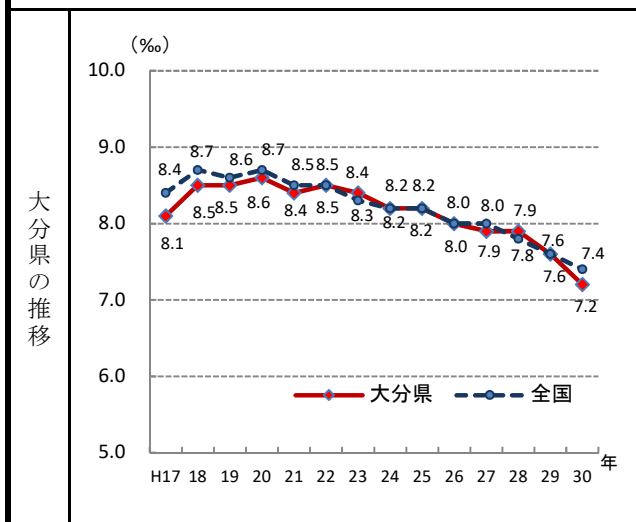
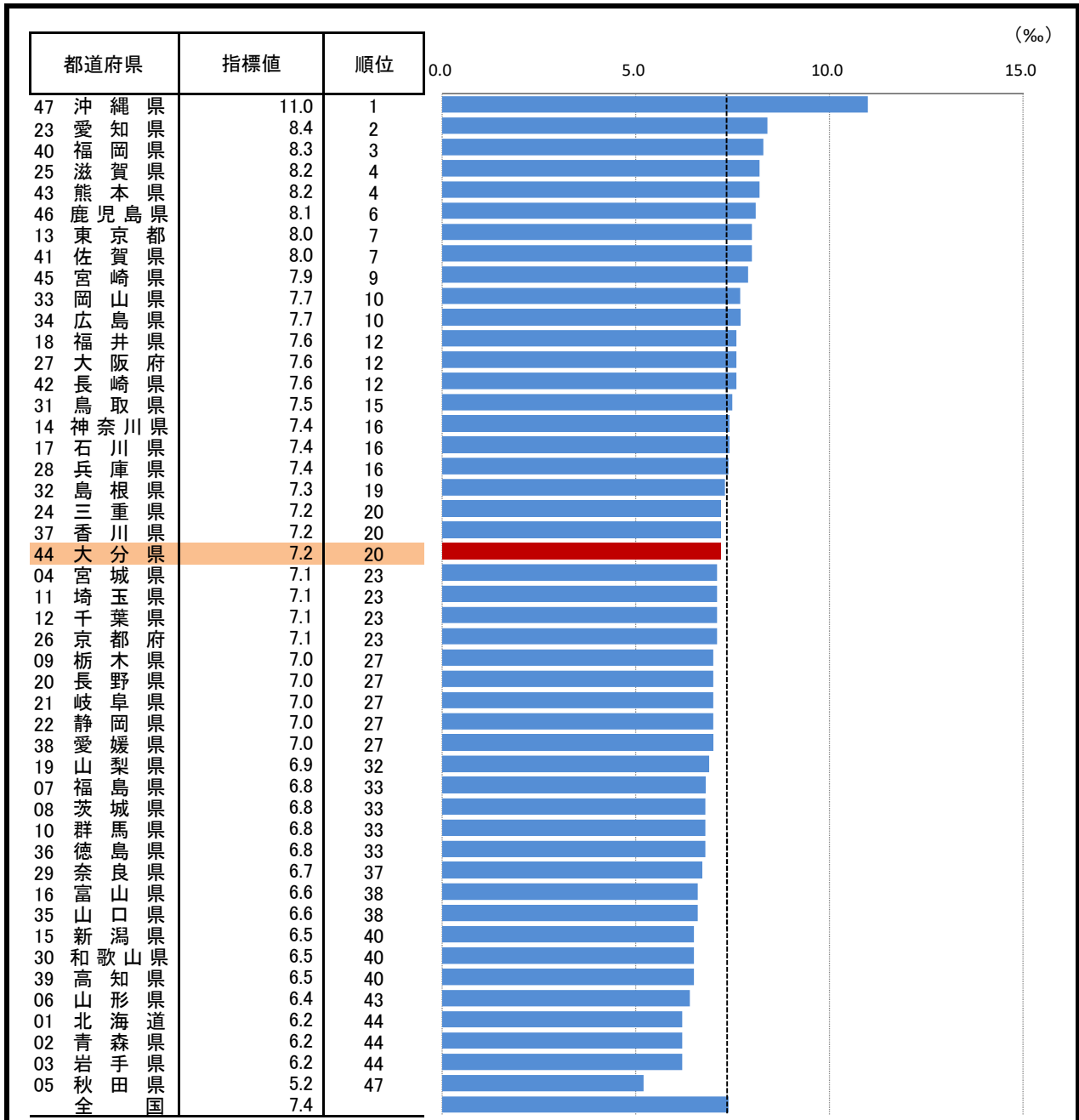
○ 資料出所：総務省統計局「人口推計年報」(参考表)  
 ○ 調査期日：平成30年10月1日  
 ○ 調査周期：毎年  
 ○ 人口増減率(%)：人口増減数(当年総人口－前年総人口)を前年総人口で除したもの。  
 注) 平成14～27年は総務省統計局「国勢調査」結果及び補間補正人口。

\* 順位は数値の大きい方からつけています。



# 8. 出生率(人口千人あたり)

—平成30年—



○ 概要  
大分県の平成30年の出生率は7.2%で、前年より0.4ポイント低下し、全国20位となっている。

○ 基礎データ (平成30年)

	大分県	全国
出生数 (人)	8,200	918,400
出生率 (%)	7.2	7.4

○ 参考指標 (平成30年)

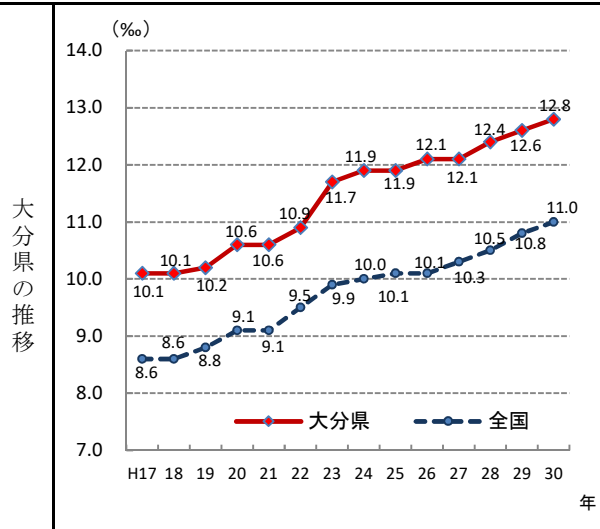
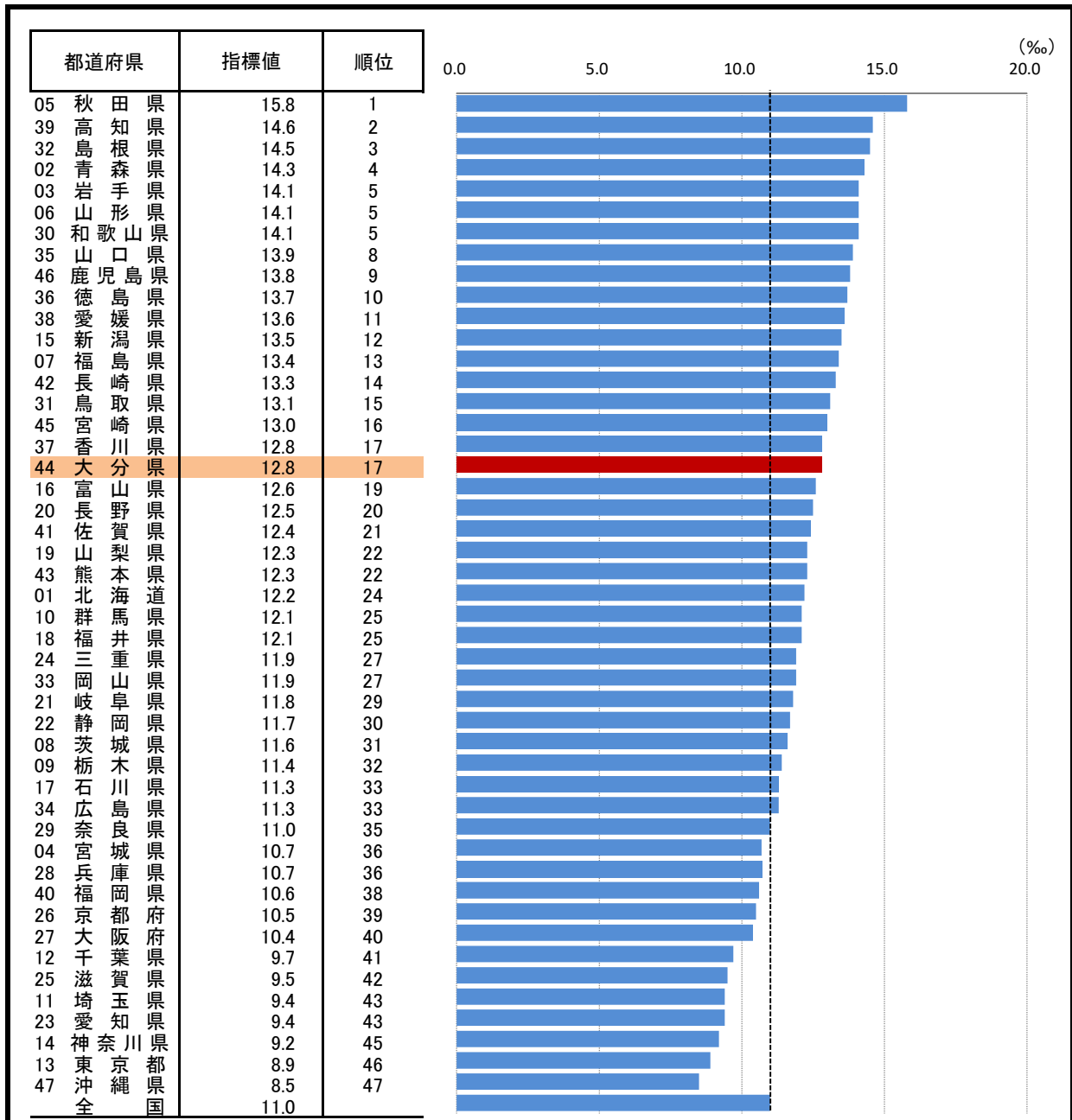
	大分県	全国
合計特殊出生率 (人)	1.59	1.42

○ 資料出所：厚生労働省「人口動態調査(人口動態統計確定数)」  
○ 調査期日：平成30年  
○ 調査周期：毎年  
○ 出生率：年間出生数÷10月1日現在の日本人人口  
○ 合計特殊出生率：一人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に産むとしたときの子どもの数。

\* 順位は数値の大きい方からつけています。

# 9. 死亡率(人口千人あたり)

—平成30年—



○ 概要  
大分県の平成30年の死亡率は12.8%で、前年から0.2ポイント上昇し、全国17位となっている。

○ 基礎データ (平成30年)

	大分県	全国
死亡数(人)	14,492	1,362,470
死亡率(%)	12.8	11.0

○ 資料出所：厚生労働省「人口動態調査統計(人口動態統計 確定数)」

○ 調査期日：平成30年

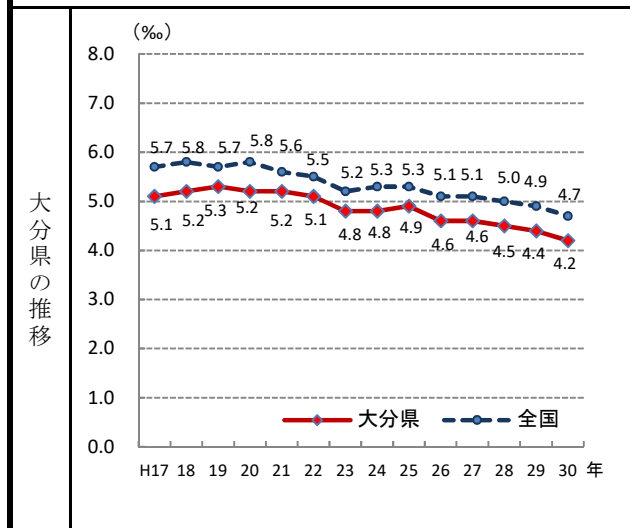
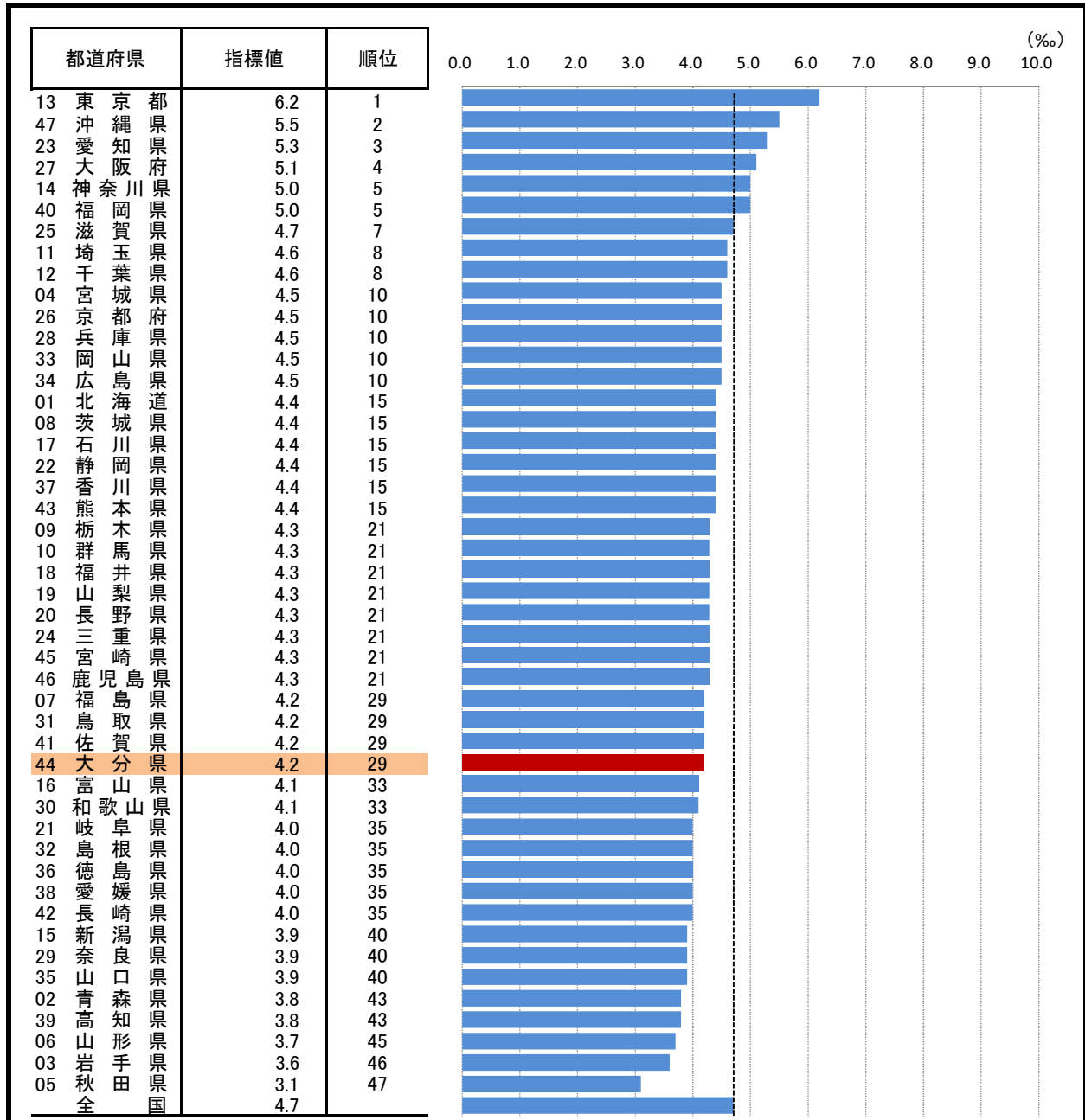
○ 調査周期：毎年

○ 死亡率：年間死亡数÷10月1日現在日本人人口

\* 順位は数値の大きい方からつけています。

# 10. 婚姻率(人口千人あたり)

—平成30年—



参 考

○ 概 要  
大分県の平成30年の婚姻率は4.2で、前年より0.2ポイント低下し、全国29位となっている。

○ 基礎データ (平成30年)

	大分県	全国
婚姻件数 (組)	4,804	586,481
婚姻率 (%)	4.2	4.7

摘 要

○ 資料出所：厚生労働省「人口動態調査 (人口動態統計 確定数)」

○ 調査期日：平成30年

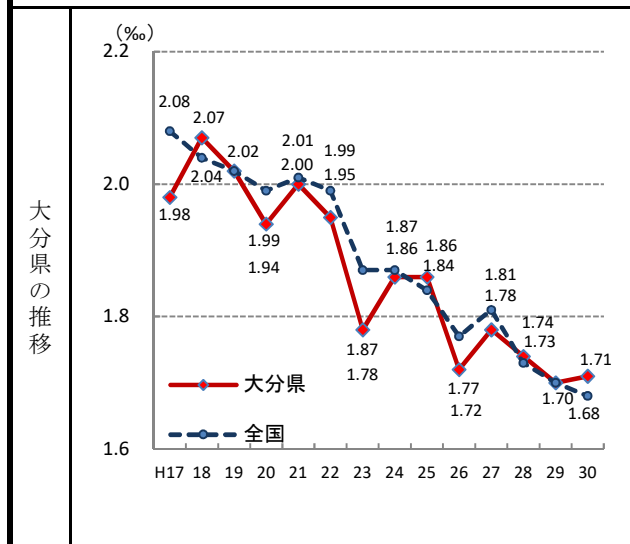
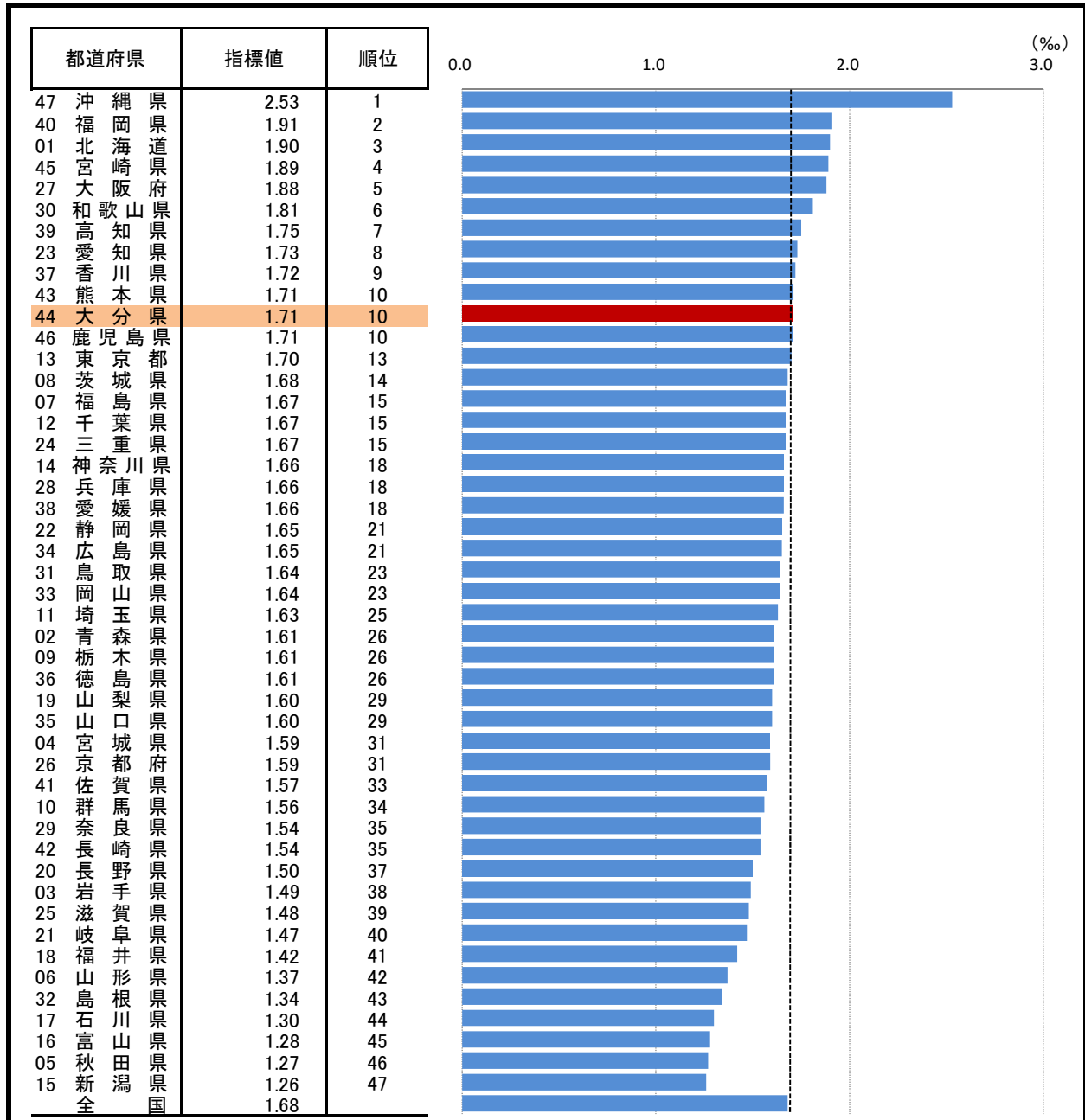
○ 調査周期：毎年

○ 婚姻率：年間婚姻件数÷10月1日現在日本人口

\* 順位は数値の大きい方からつけています。

# 11. 離婚率(人口千人あたり)

—平成30年—



○ 概要  
大分県の平成30年の離婚率は1.71%で、前年から0.01ポイント上昇し、全国10位となっている。

○ 基礎データ (平成30年)

	大分県	全国
離婚件数 (組)	1,931	208,333
離婚率 (%)	1.71	1.68

○ 資料出所：厚生労働省「人口動態調査 (人口動態統計 確定数)」

○ 調査期日：平成30年

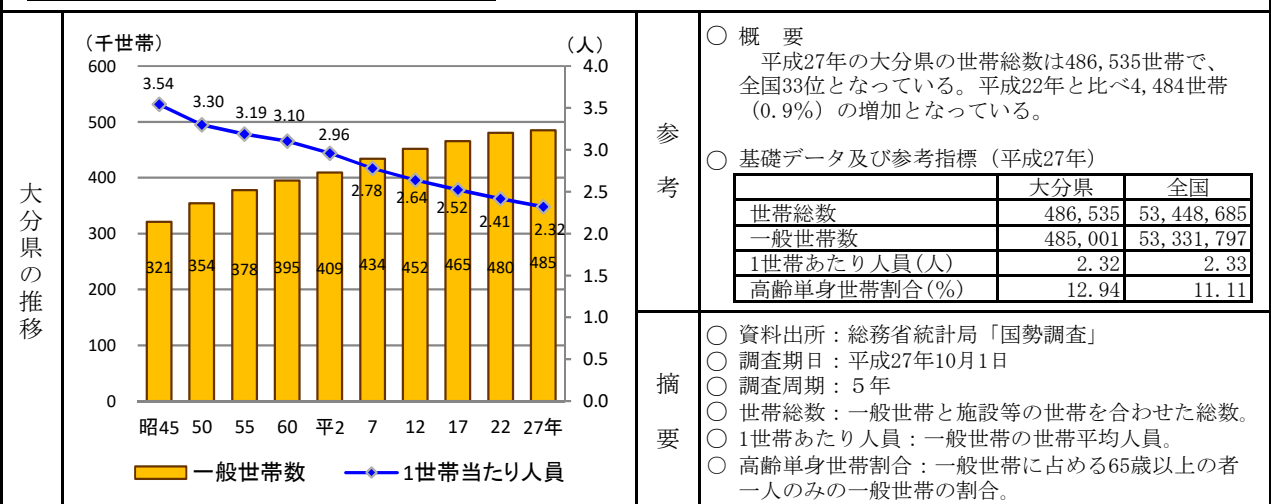
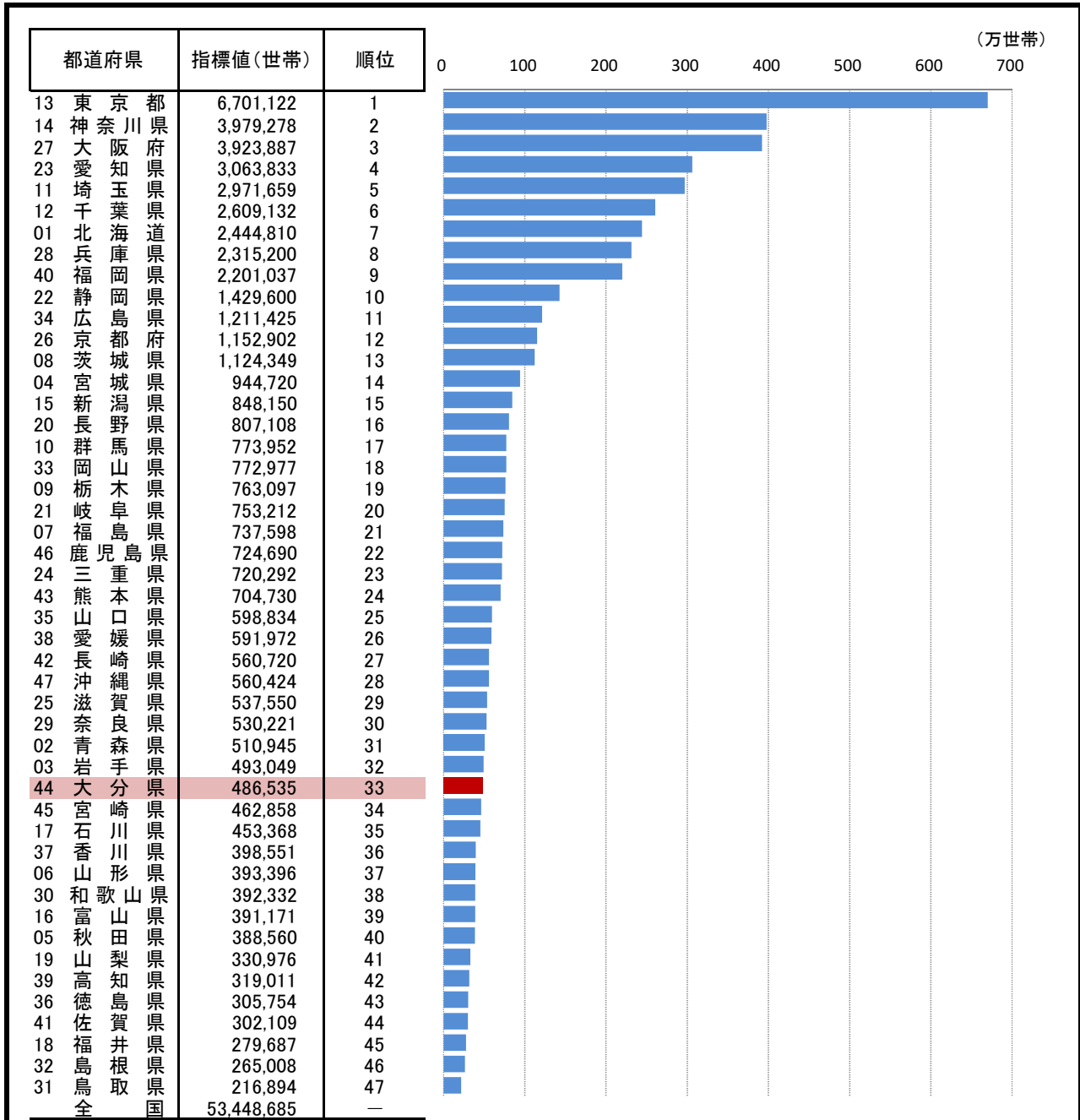
○ 調査周期：毎年

○ 離婚率：年間離婚届出件数÷10月1日現在日本人人口

\* 順位は数値の大きい方からつけています。

## 12. 世帯総数

—平成27年—



\* 順位は数値の大きい方からつけています。

## 2 自然

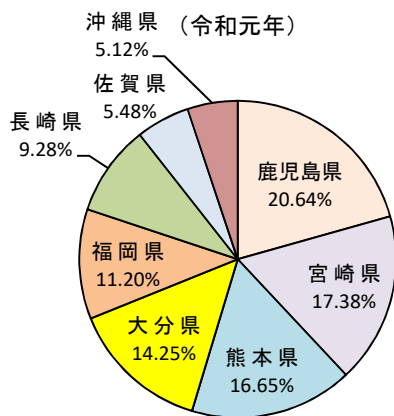


# 13. 総面積

— 令和元年 —

都道府県	指標値 (km <sup>2</sup> )	順位	(千km <sup>2</sup> )
01 北海道	83,424.39	1	83.42
03 北海道	15,275.01	2	15.28
07 福島県	13,783.90	3	13.78
20 長野県	13,561.56	4	13.56
15 新潟県	12,584.24	5	12.58
05 秋田県	11,637.52	6	11.64
21 岐阜県	10,621.29	7	10.62
02 青森県	9,645.64	8	9.65
06 山形県	9,323.15	9	9.32
46 鹿児島県	9,187.08	10	9.19
34 広島県	8,479.64	11	8.48
28 兵庫県	8,400.94	12	8.40
22 静岡県	7,777.35	13	7.78
45 宮崎県	7,735.33	14	7.74
43 熊本県	7,409.45	15	7.41
04 宮城県	7,282.29	16	7.28
33 岡山県	7,114.33	17	7.11
39 高知県	7,103.64	18	7.10
32 島根県	6,708.27	19	6.71
09 栃木県	6,408.09	20	6.41
10 群馬県	6,362.28	21	6.36
44 大分県	6,340.76	22	6.34
35 山口県	6,112.53	23	6.11
08 茨城県	6,097.39	24	6.10
24 三重県	5,774.45	25	5.77
38 愛媛県	5,676.16	26	5.68
23 愛知県	5,173.06	27	5.17
12 千葉県	5,157.60	28	5.16
40 福岡県	4,986.51	29	4.99
30 和歌山県	4,724.65	30	4.72
26 京都府	4,612.20	31	4.61
19 山梨県	4,465.27	32	4.47
16 富山県	4,247.59	33	4.25
18 福井県	4,190.52	34	4.19
17 石川県	4,186.05	35	4.19
36 徳島県	4,146.75	36	4.15
42 長崎県	4,131.00	37	4.13
25 滋賀県	4,017.38	38	4.02
11 埼玉県	3,797.75	39	3.80
29 奈良県	3,690.94	40	3.69
31 鳥取県	3,507.14	41	3.51
41 佐賀県	2,440.70	42	2.44
14 神奈川県	2,416.30	43	2.42
47 沖縄県	2,281.00	44	2.28
13 東京都	2,194.07	45	2.19
27 大阪府	1,905.29	46	1.91
37 香川県	1,876.79	47	1.88
全 国	377,975.24	—	377.98

九州・沖縄の総面積に占める割合



参考

○ 概要  
令和元年の大分県の総面積は6,340.76km<sup>2</sup>で、国土の1.68%を占め、全国22位となっている。  
九州・沖縄の総面積に占める割合では鹿児島県、宮崎県、熊本県に次いで4位となっている。

○ 基礎データ (令和元年)

	大分県	全国
総面積 (km <sup>2</sup> )	6,340.76	377,975.24
全国に占める割合 (%)	1.68	100.00
九州に占める割合 (%)	14.25	—

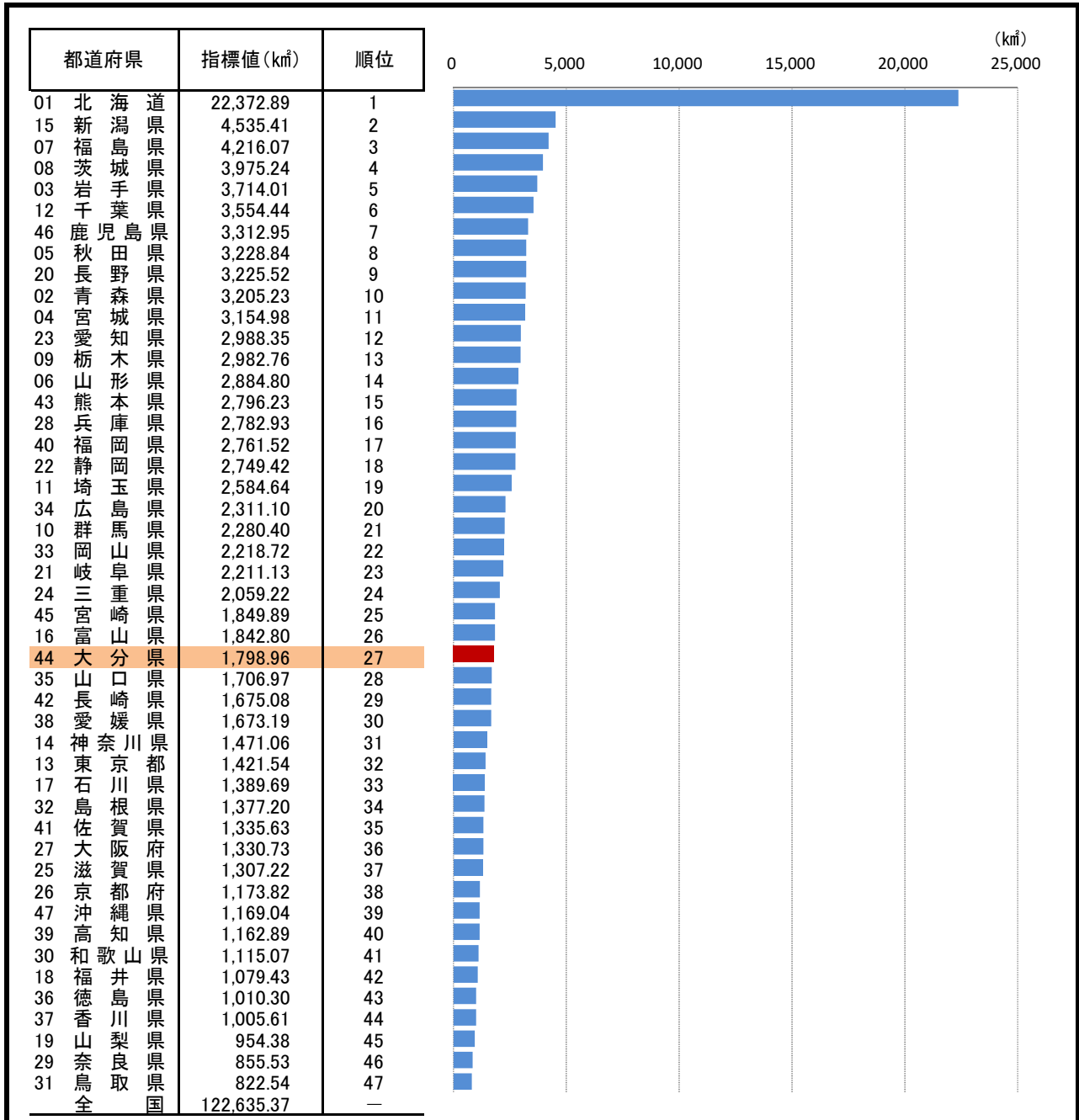
摘要

○ 資料出所：国土交通省国土地理院「全国都道府市区町村別面積調」  
○ 調査期日：令和元年10月1日  
○ 調査周期：毎年  
注) 都県にまたがって境界未定となっている市区町村等の面積値がある場合は参考値による。1km<sup>2</sup>以上の人造湖を除く湖沼の面積を含む。

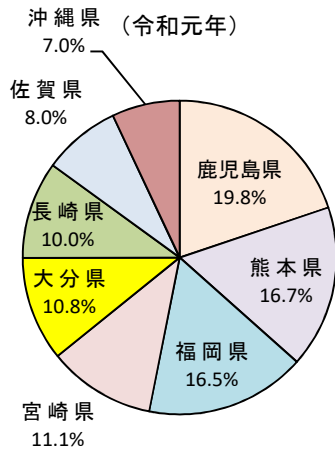
\* 順位は数値の大きい方からつけています。

# 14. 可住地面積

— 令和元年 —



九州・沖縄の可住地面積に占める割合



参 考

- 概 要  
令和元年の大分県の可住地面積は1,798.96k㎡で、国土の1.47%を占め、全国27位となっている。  
九州・沖縄の可住地面積に占める割合では鹿児島県、熊本県、福岡県、宮崎県に次いで5位。
- 基礎データ (令和元年)

	大分県	全国
可住地面積 (k㎡)	1,798.96	122,635.37
九州に占める割合 (%)	10.8	—

摘 要

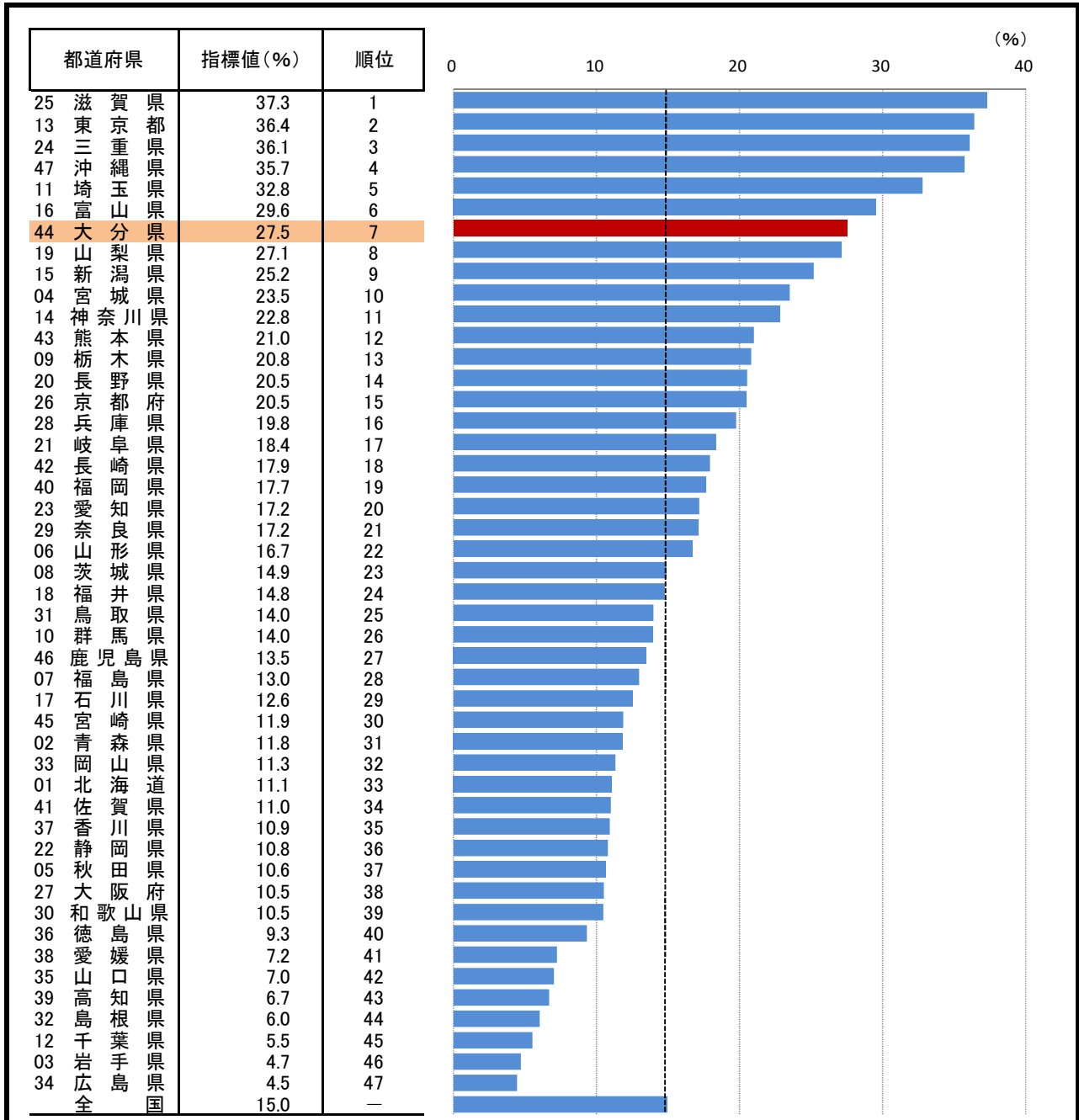
- 資料出所：国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」（総面積、湖沼面積）  
調査期日及び周期：令和元年10月1日、毎年
- 資料出所：農林水産省「世界農林業センサス」、「農林業センサス」（林野面積）  
調査期日及び周期：平成27年2月1日、5年
- 指標計算式：総面積－(林野面積＋湖沼面積)  
注) 北方地域及び竹島を除く。湖沼は、1k㎡以上の人造湖を除く湖沼。

\* 順位は数値の大きい方からつけています。



# 15. 自然公園面積割合

—平成30年度—



九州各県の自然公園面積

(平成30年度) (単位: %)

都道府県	面積割合 (%)
大分県	21.4
熊本県	19.1
鹿児島県	15.2
宮崎県	11.3
福岡県	10.8
沖縄県	10.0
長崎県	9.1
佐賀県	3.3

参 考

○ 概 要  
平成30年度の大分県の自然公園面積は174,391haで、県土の27.5%を占め、県土に占める割合では全国7位となっている。

○ 基礎データ及び参考指標 (平成30年度)

	大分県	全国
自然公園面積 (ha)	174,391	5,577,607
自然公園数 (箇所)	10	487

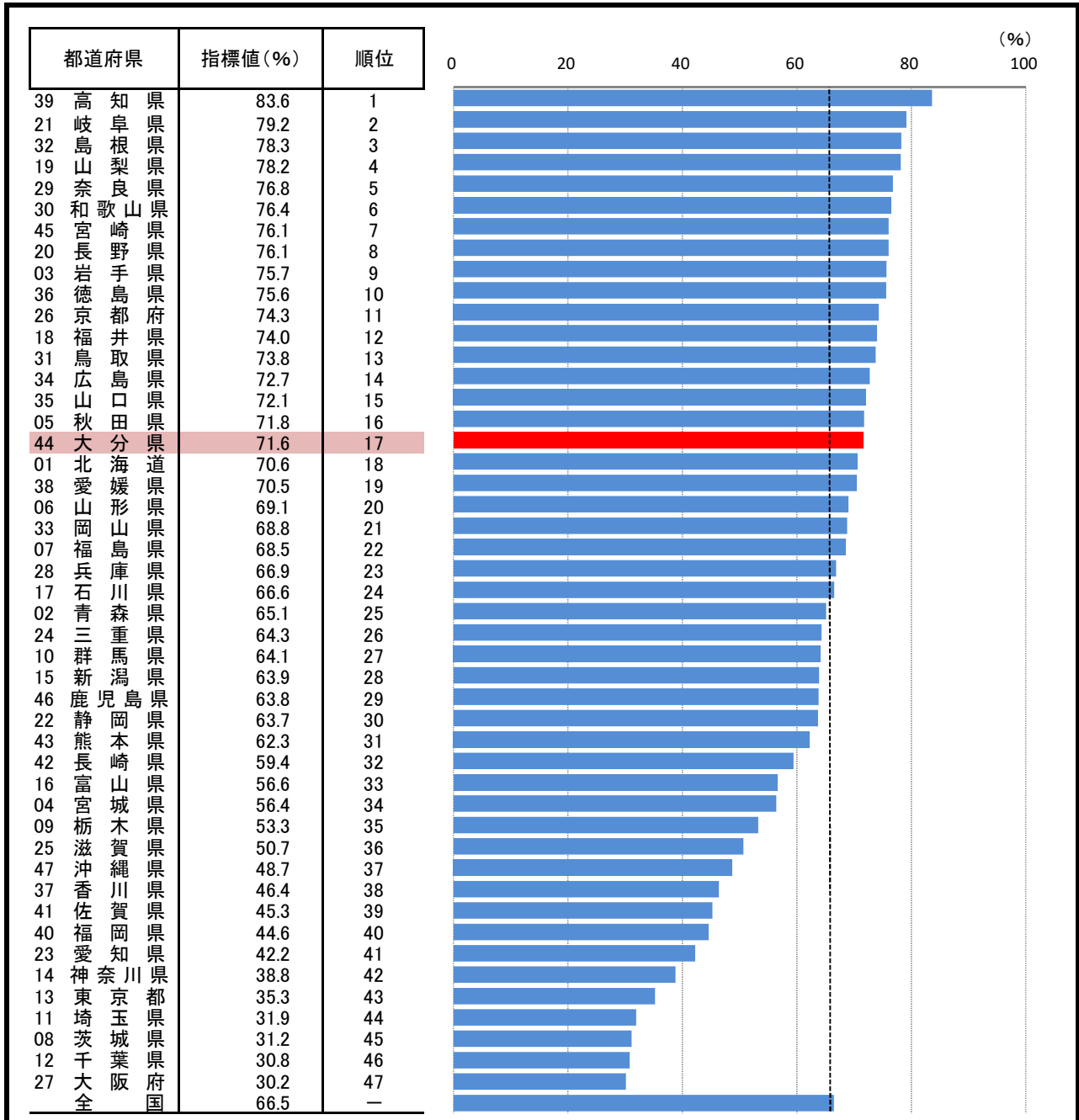
摘 要

○ 資料出所：環境省「環境統計集」  
○ 調査期日：平成31年3月31日  
○ 周期：毎年  
○ 自然公園：自然公園法の規定により、優れた自然の風景地の保護と快適で適正な利用の増進などを目的として指定された区域。国立公園、国定公園、都道府県立自然公園の3種類がある。  
○ 指標計算式：自然公園面積/総面積  
注) 北方地域及び竹島を除く。

\* 順位は数値の大きい方からつけています。

# 16. 森林面積割合

—平成26年度—



九州の森林面積に占める割合

(平成26年度)

都道府県	割合 (%)
宮崎県	21.2%
鹿児島県	21.1%
大分県	16.3%
熊本県	16.6%
長崎県	8.8%
福岡県	8.0%
佐賀県	4.0%
沖縄県	4.0%

参考

○ 概要  
平成27年度の大分県の森林面積は4,541.80km<sup>2</sup>で、県土の71.6%を占め、県土に占める割合では全国17位となっている。

○ 基礎データ (平成27年)

	大分県	全国
森林面積 (km <sup>2</sup> )	4,541.80	248,022.77
九州に占める割合 (%)	16.3	—

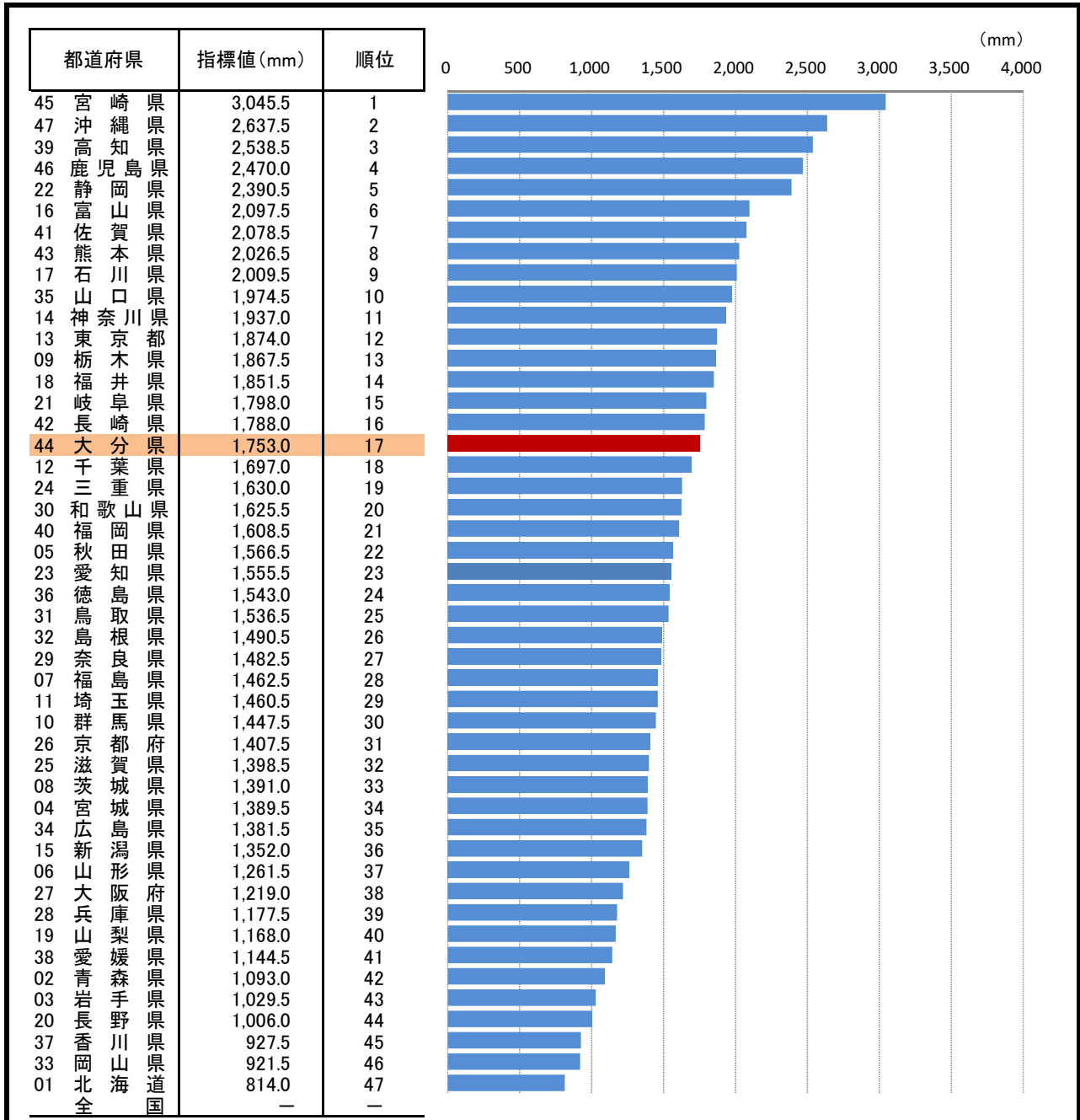
摘要

○ 資料出所：農林水産省「農林業センサス」  
 ○ 調査期日：平成27年2月1日  
 ○ 周期：5年  
 ○ 森林面積：木竹が集団的に生育している土地及びその土地の上にある立竹木、あるいは、木竹の集団的な生育に供される土地の面積。  
 ○ 指標計算式：森林面積/総面積  
 注) 北方地域及び竹島を除く。

\* 順位は数値の大きい方からつけています。

# 17. 年間降水量

—令和元年—



大分県の推移

参考

- 概要  
令和元年の大分県（大分市）の年間降水量は1,753.0mmで、全国17位となっている。
- 基礎データ及び参考指標（令和元年）

	大分県	全国順位
年間降水量 (mm)	1,753.0	17位
年間降水日数	107	31位

摘要

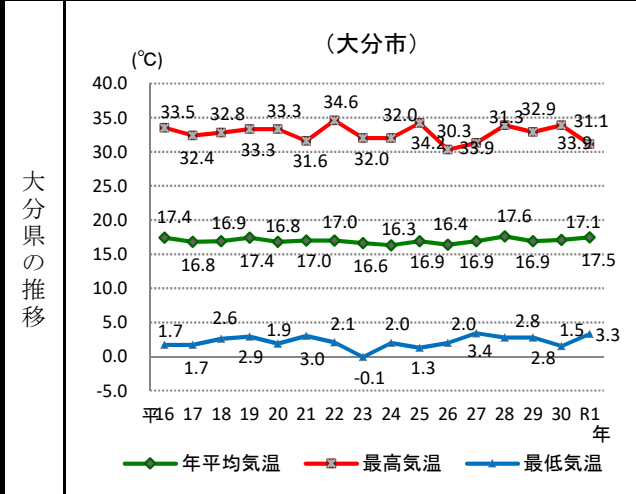
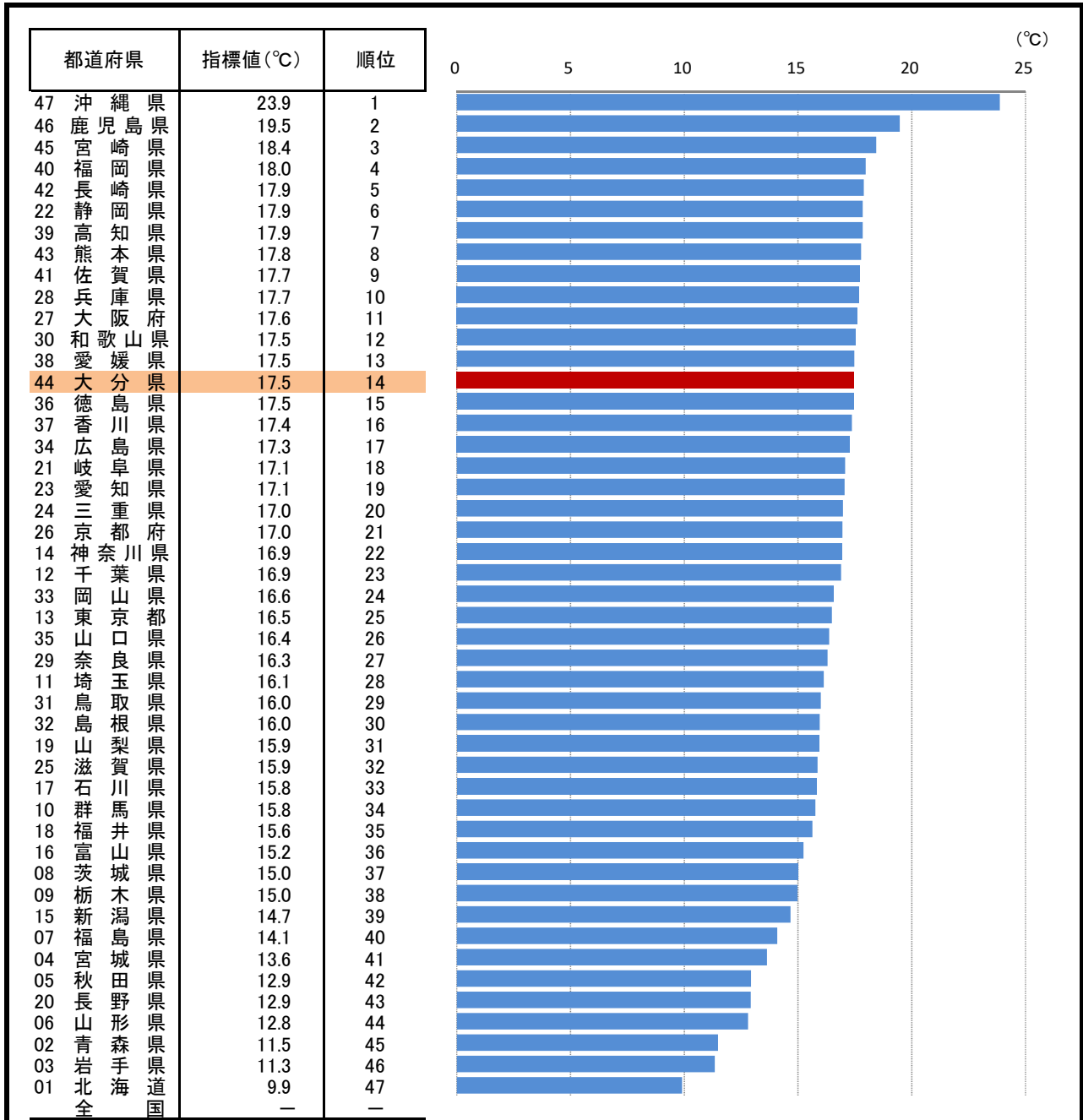
- 資料出所：気象庁HP「過去の気象データ・ダウンロード」
- 調査期日：年間
- 調査周期：毎年
- 年間降水量：転倒ます型雨量計による観測値で年間の総雨量をmm単位で示したもの。
- 年間降水日数：日降水量が1mm以上であった日の年間の日数。

注）数値は、都道府県庁所在市のデータである。ただし、埼玉県は熊谷市、滋賀県は彦根市の気象台・測候所の観測値である。

\* 順位は数値の大きい方からつけています。

# 18. 年平均気温

—令和元年—



参考

- 概要  
令和元年の大分県（大分市）の年平均気温は17.5°Cで、全国14位となっている。
- 基礎データ及び参考指標（令和元年）

	大分県	全国順位
年平均気温 (°C)	17.5	14位
最高気温 (°C)	31.1	40位
最低気温 (°C)	3.3	8位

摘要

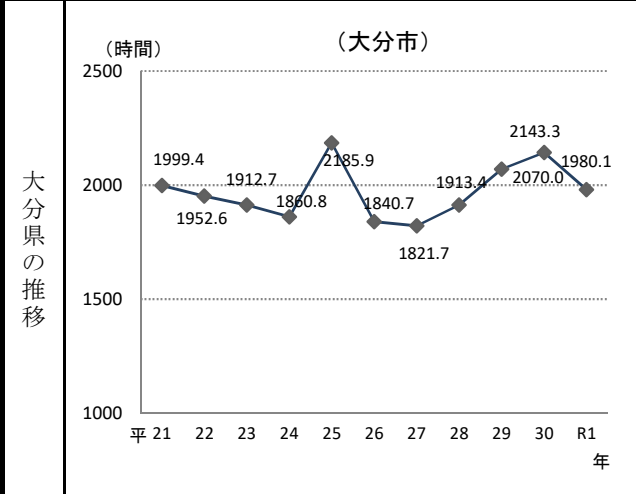
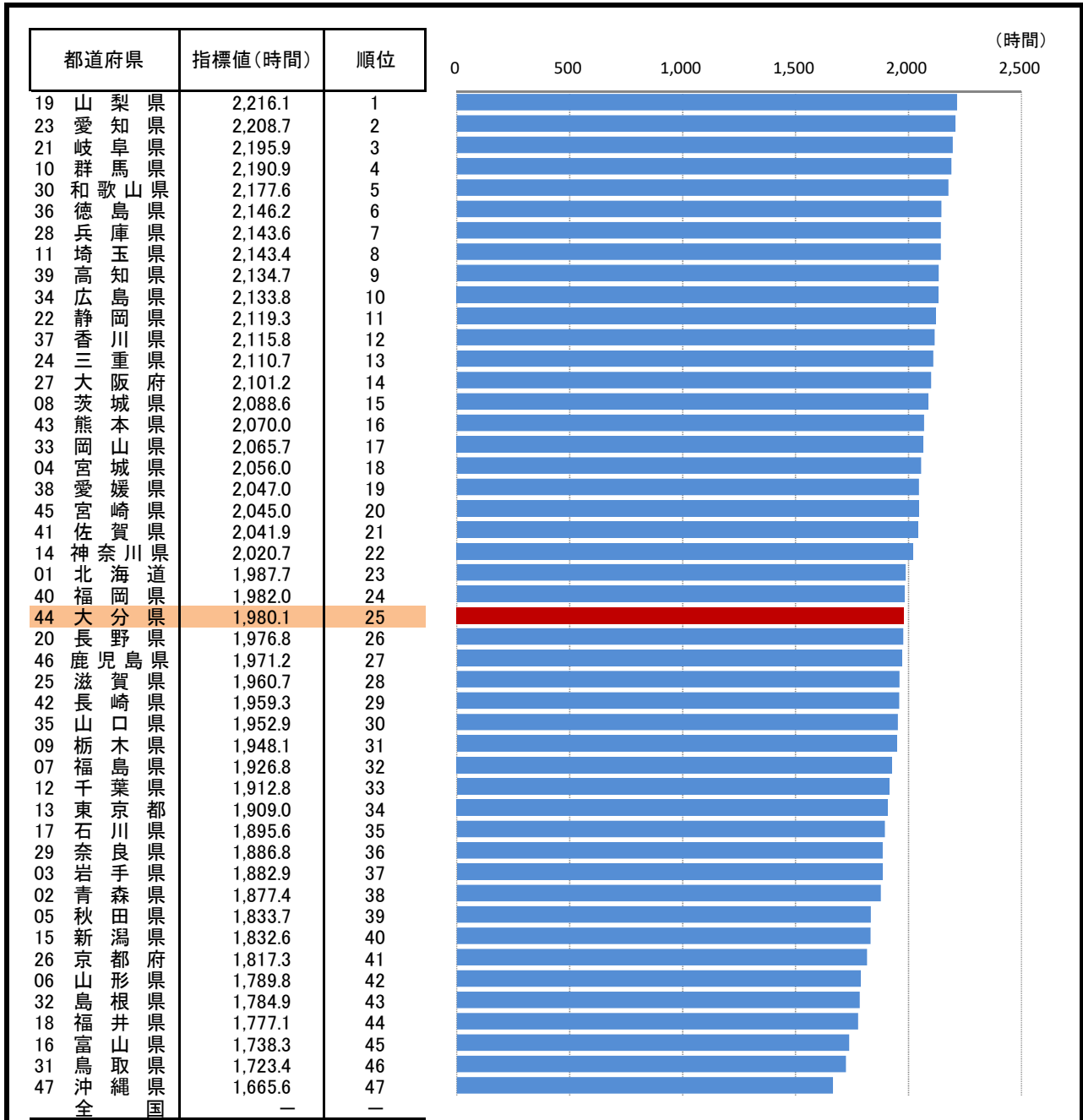
- 資料出所：気象庁HP「過去の気象データ・ダウンロード」
- 調査期日及び周期：年間及び毎年
- 年平均気温：気温は°C単位で少数第1位まで採り、1日24回の観測値から日平均気温を求め、それから算出した年平均の気温。
- 最高(最低)気温：月平均の日最高(最低)気温のうち、年間を通じて最高(最低)の月平均気温。

注) 数値は、都道府県庁所在市のデータ。ただし、埼玉県は熊谷市、滋賀県は彦根市の気象台・測候所の観測値。

\* 順位は数値の大きい方からつけています。

# 19. 年間日照時間

— 令和元年 —



参 考

- 概 要  
令和元年の大分県（大分市）の年間日照時間は1,980.1時間で、全国25位となっている。
- 基礎データ（令和元年）

	大分県	全国順位
年間日照時間(時間)	1,980.1	25位

摘 要

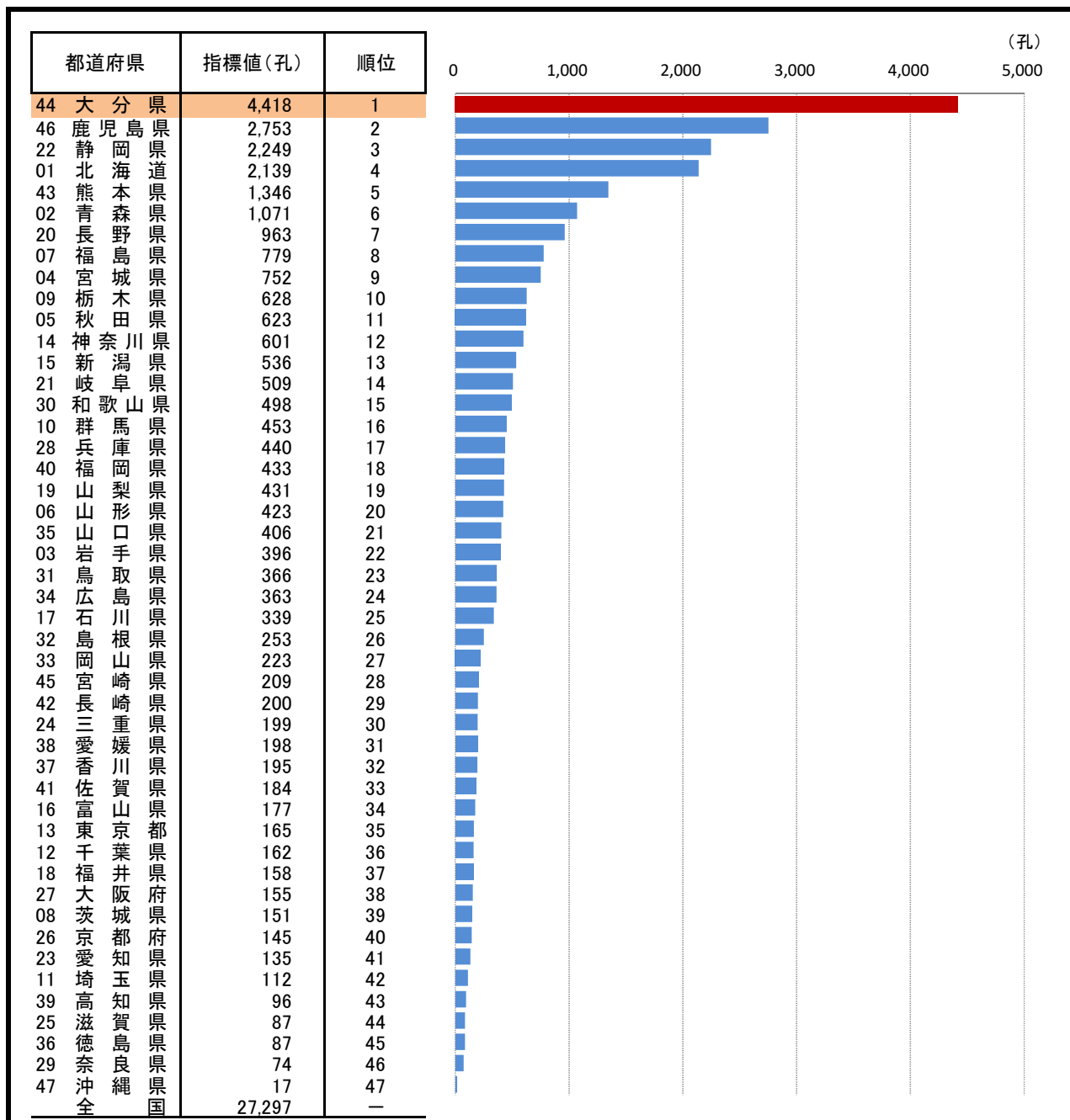
- 資料出所：気象庁HP「過去の気象データ・ダウンロード」
- 調査期日：年間
- 調査周期：毎年
- 年間日照時間：回転式日照計による値であり、直射日光が地表を照射した時間の年間の合計。

注）数値は、都道府県庁所在市のデータ。ただし、埼玉県は熊谷市、滋賀県は彦根市の気象台・測候所の観測値。

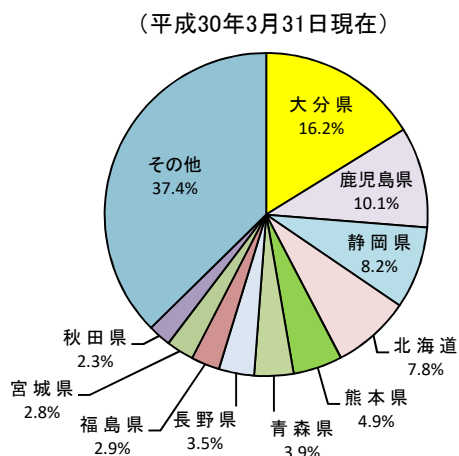
\* 順位は数値の大きい方からつけています。

## 20. 温泉源泉総数

—平成29年度—



温泉源泉数の全国に占める割合



参考

○ 概要  
平成30年3月末日現在の県の大分県の温泉源泉数は4,418孔で、全国の温泉源泉数の16.2%を占め、全国1位となっている。

○ 基礎データ (平成30年3月31日現在)

	大分県	全国
温泉源泉総数 (孔)	4,418	27,297
全国に占める割合 (%)	16.2	100.0

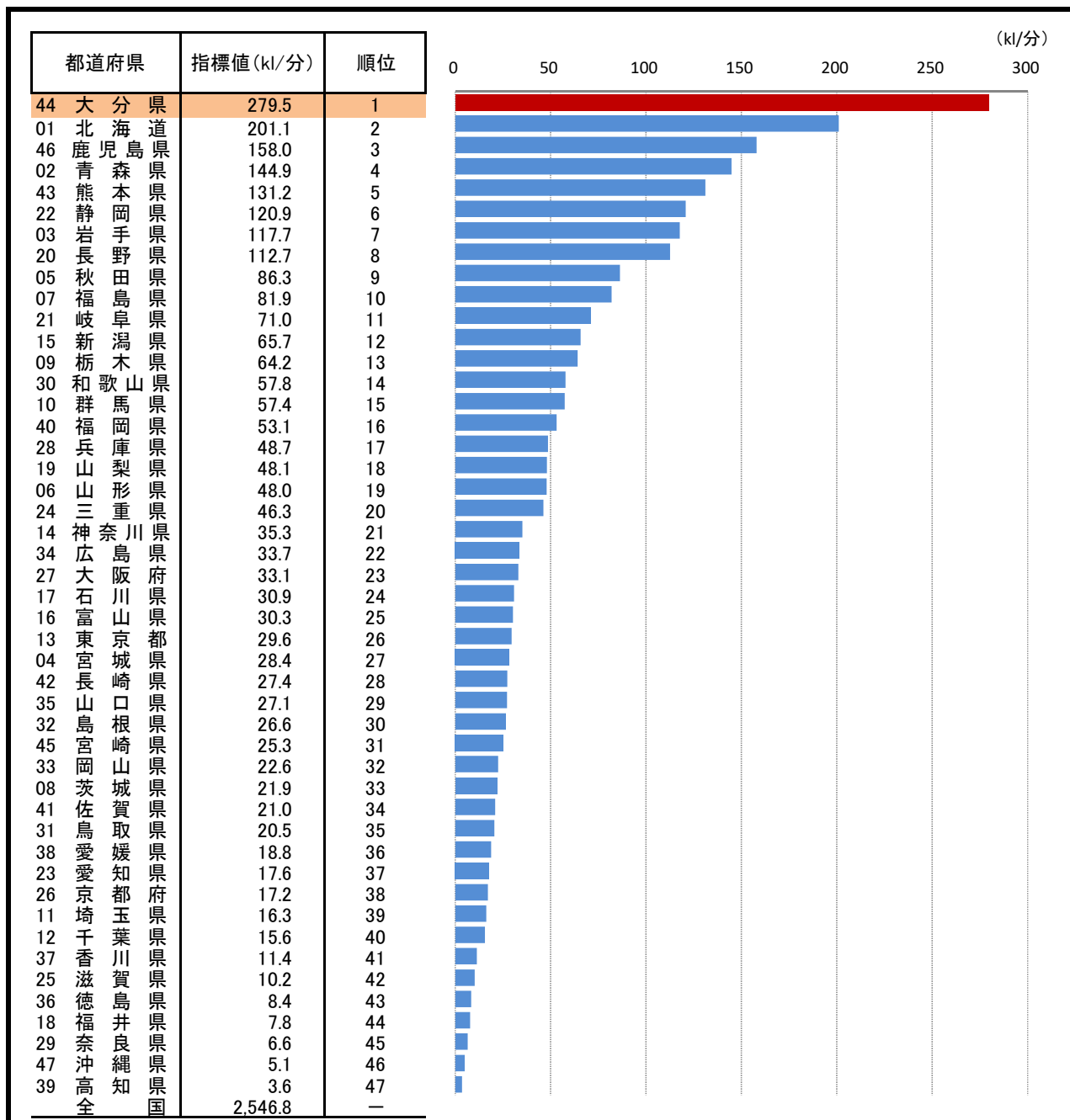
摘要

○ 資料出所：環境省「平成29年度温泉利用状況」  
○ 調査期日：平成30年3月31日  
○ 調査周期：毎年度  
○ 温泉源泉：地中から温泉が湧き出てくる場所。源泉の湧出形態は大別して「自然湧出」、「掘削自噴」及び「掘削動力揚湯」の3種類がある。源泉総数は、「利用源泉数」及び「未利用源泉数」の合計。

\* 順位は数値の大きい方からつけています。

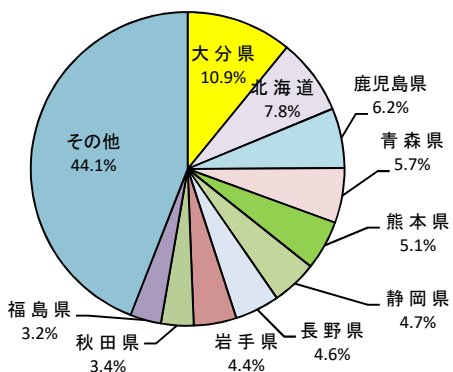
## 21. 温泉湧出量

—平成29年度—



温泉湧出量の全国に占める割合

(平成29年3月31日現在)



参考

○ 概要  
平成30年3月末日現在のオオイタ県の温泉湧出量は279.5kl/分で、全国の温泉湧出量の11.0%を占め、全国1位となっている。

○ 基礎データ (平成29年3月31日現在)

	大分県	全国
温泉湧出量 (l/分)	279,549	2,546,813
全国に占める割合 (%)	11.0	100.0

摘要

○ 資料出所：環境省「平成29年度温泉利用状況」  
○ 調査期日：平成30年3月31日  
○ 調査周期：毎年度  
○ 温泉湧出量：温泉が源泉から単位時間当たりに湧き出る量。1分間に源泉から採取できる量を測定したもの。多ければ多いほど湯量が豊富になる。温泉地の地形、源泉数、源泉の形式などによって左右される。

\* 順位は数値の大きい方からつけています。

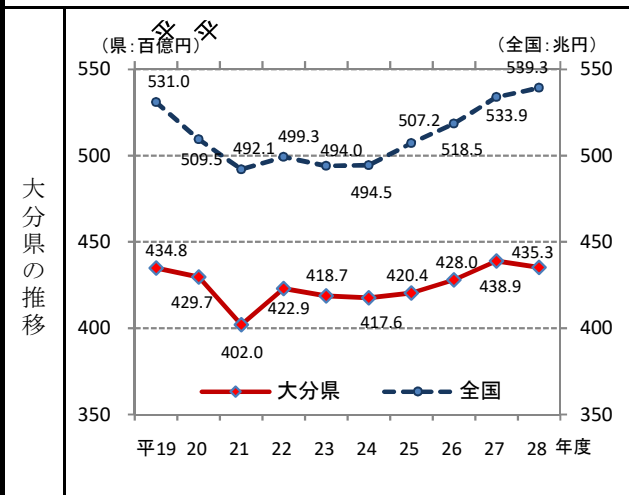
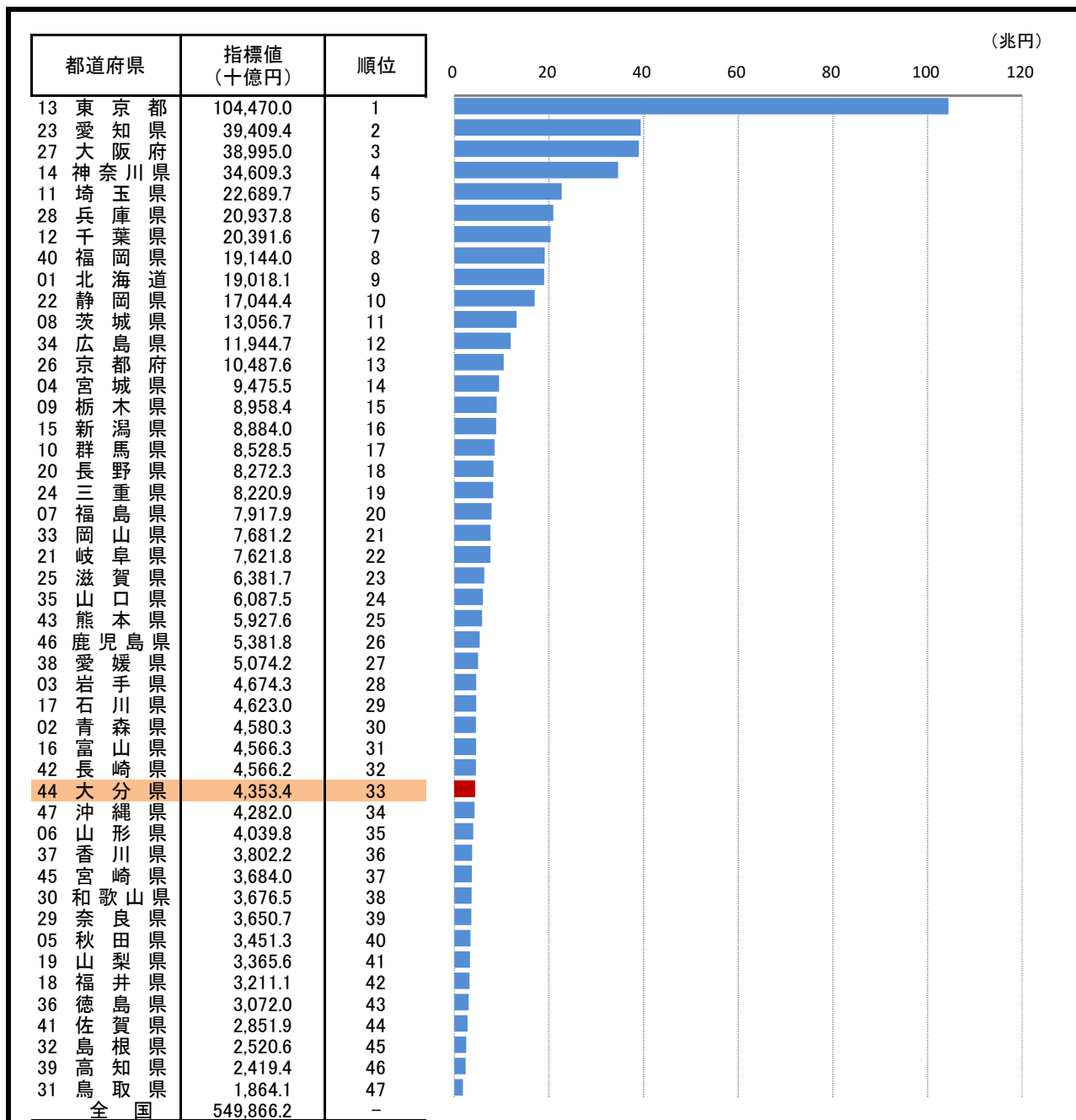
## 3 経済





## 22. 県内総生産(名目)

—平成28年度—



○ 概要  
平成28年度の大分県の県内総生産(名目)は43,534億円で、全国の0.79%を占めている。

○ 基礎データ (十億円)

	大分県	全国
平成24年度	4,175.6	494,478.0
25	4,203.6	507,246.0
26	4,280.2	518,468.5
27	4,388.8	533,904.4
28	4,353.4	539,254.3

○ 資料出所：内閣府経済社会総合研究所「県内経済計算年報」「平成28年度国民経済計算年報」

○ 調査対象年度：平成28年度

○ 調査周期：毎年度

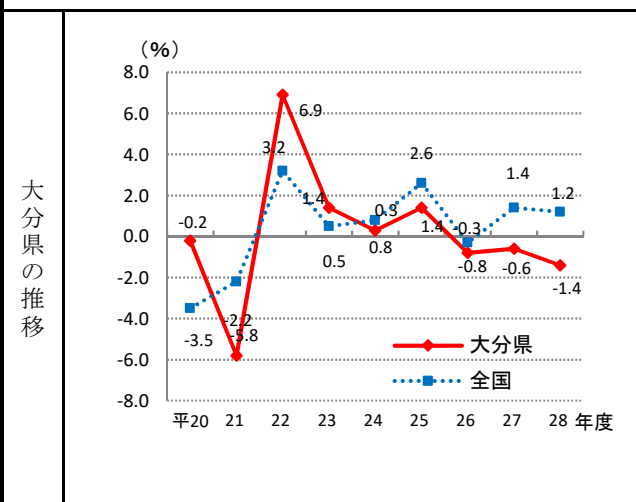
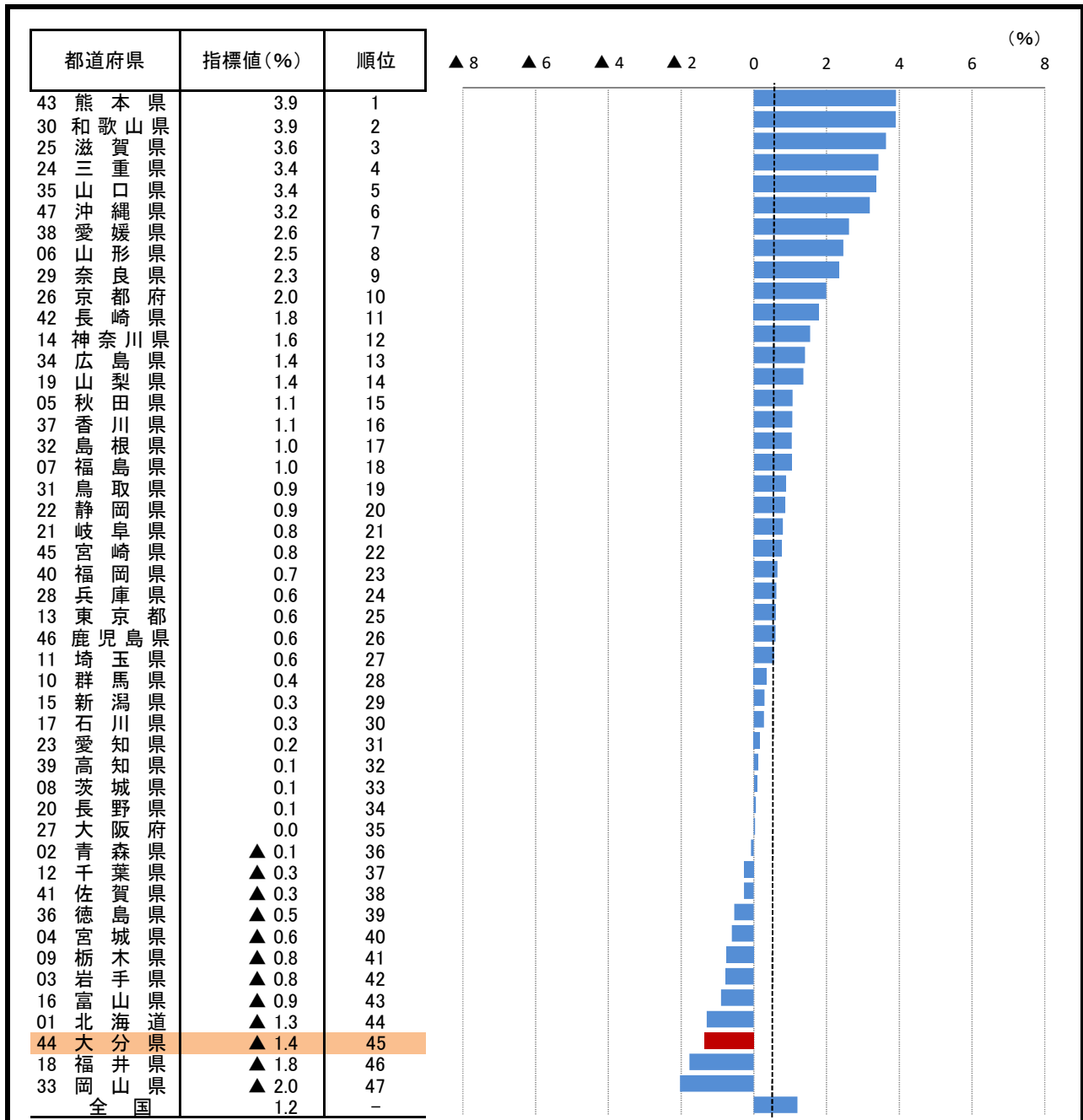
○ 県内総生産：都道府県という行政区域における経済活動によって1年間に得られた付加価値額。

○ 名目とは物価変動を含む年々の時価で評価したもの。  
注) 全国は「国民経済計算年報」による国内総生産の値。

\* 順位は数値の大きい方からつけています。

23. 実質経済成長率 (連鎖方式: 暦年連鎖価格)

—平成28年度—



参 考

○ 概 要  
平成28年度の大分県の実質経済成長率は-1.4%で、3年連続のマイナスとなった。

○ 基礎データ (%)

	大分県	全国
平成28年度	-1.4	1.2

摘 要

○ 資料出所：内閣府経済社会総合研究所「県民経済計算年報」「平成28年度国民経済計算年報」

○ 調査対象年度：平成28年度

○ 調査周期：毎年度

○ 経済成長率：県内総生産の対前年度増加率

○ 実質：一定の基準年次の物価を評価基準としたもので、経済の実質的な伸びを見る場合に用いる。

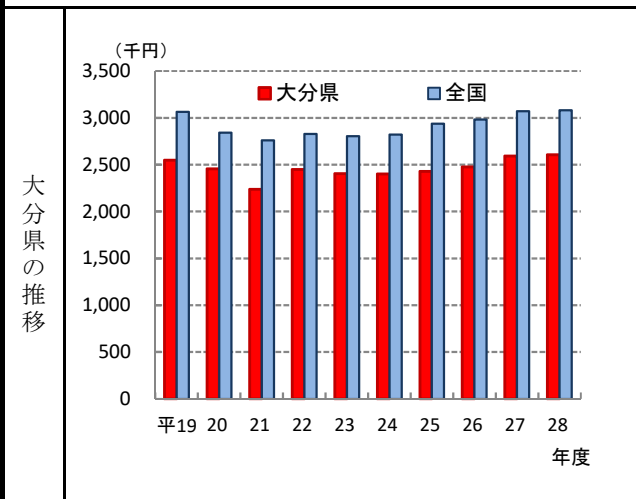
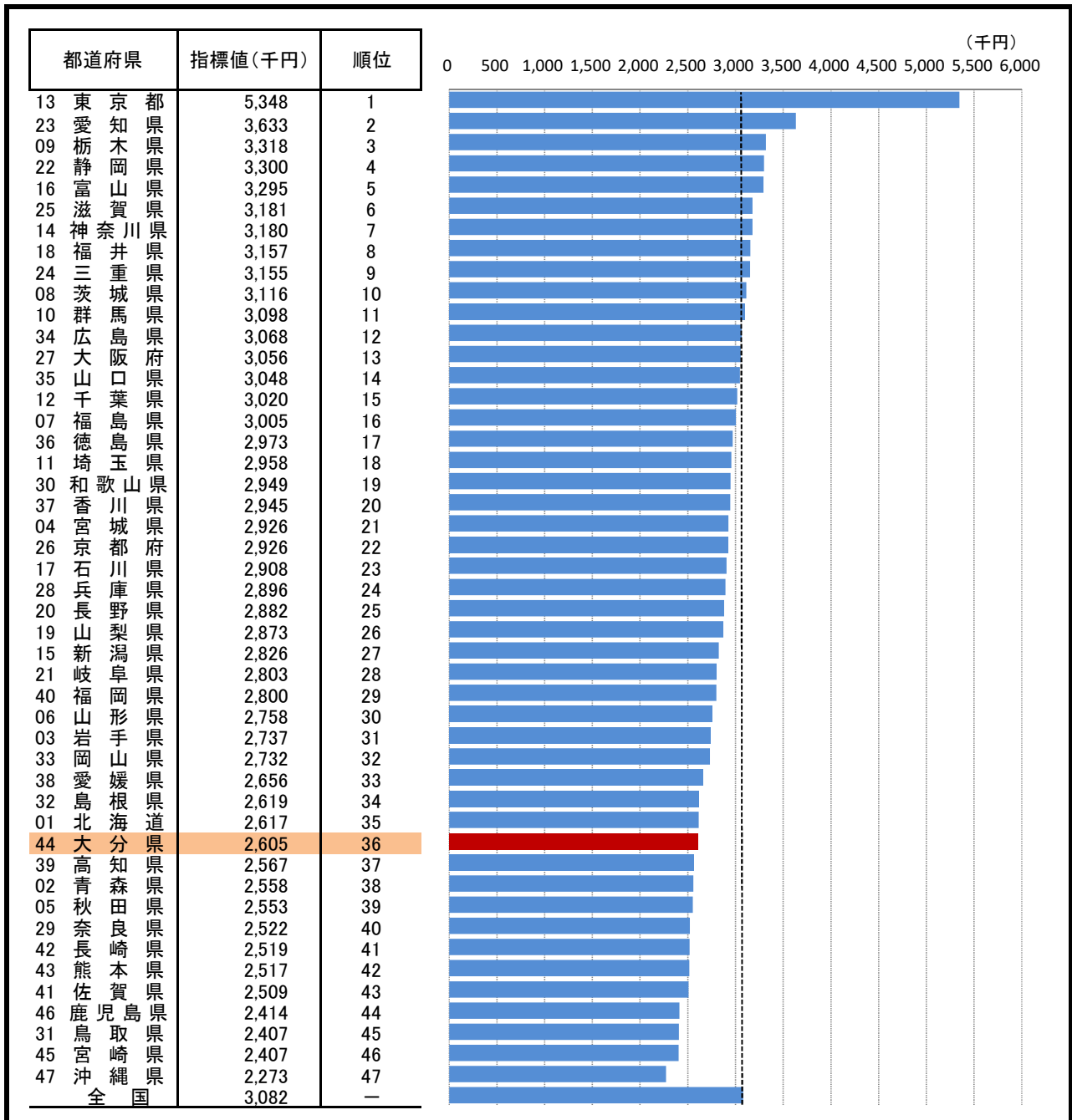
○ 連鎖方式：実質化の指数計算において、前年を基準年とし、それらを毎年積み重ねて接続する方法。

注) 全国は「国民経済計算年報」による値。

\* 順位は数値の大きい方からつけています。

# 24. 一人あたり県民所得

—平成28年度—



○ 概要  
平成28年度の大分県の一人あたり県民所得は2,605千円で、全国36位となっている。

○ 基礎データ (千円)

	大分県	全国
平成24年度	2,401	2,820
25	2,428	2,938
26	2,475	2,983
27	2,591	3,069
28	2,605	3,082

○ 資料出所：内閣府経済社会総合研究所「県民経済計算年報」「平成28年度国民経済計算年報」  
○ 調査対象年度：平成28年度  
○ 調査周期：毎年度  
○ 一人あたり県民所得：分配所得総額を県の総人口で除したもの。分配所得には、雇用人報酬のほか、財産所得や企業所得が含まれる。  
注) 全国は「国民経済計算年報」による値。

\* 順位は数値の大きい方からつけています。